

朝倉保育園屋外階段新築工事

図面番号	図面タイトル
A-01	特記仕様書 (1)
A-02	特記仕様書 (2)
A-03	特記仕様書 (3)
A-04	付近見取図・仮設計画図
A-05	改修前後配置図
A-06	平面図
A-07	立面図・外構立面図
A-08	平面註細図等外構図・原相状図
A-09	断面詳細図
A-10	雑詳細図
A-11	外構詳細図 (1)
A-12	外構詳細図 (2)

図面番号	図面タイトル
S-01	構造特記仕様書 (1)
S-02	構造特記仕様書 (2)
S-03	配筋標準図 (1)
S-04	配筋標準図 (2)
S-05	鉄骨工作標準図 (1)
S-06	鉄骨工作標準図 (2)
S-07	開先基準図
S-08	柱図
S-09	軸組図
S-10	断面リスト (1)
S-11	断面リスト (2)
S-12	階段詳細図
S-13	既成柱脚仕様書 (1)
S-14	既成柱脚仕様書 (2)
S-15	既成柱脚仕様書 (3-1)
S-16	既成柱脚仕様書 (3-2)
S-17	表層改良工法特記仕様書
S-18	【参考図】土質柱状図



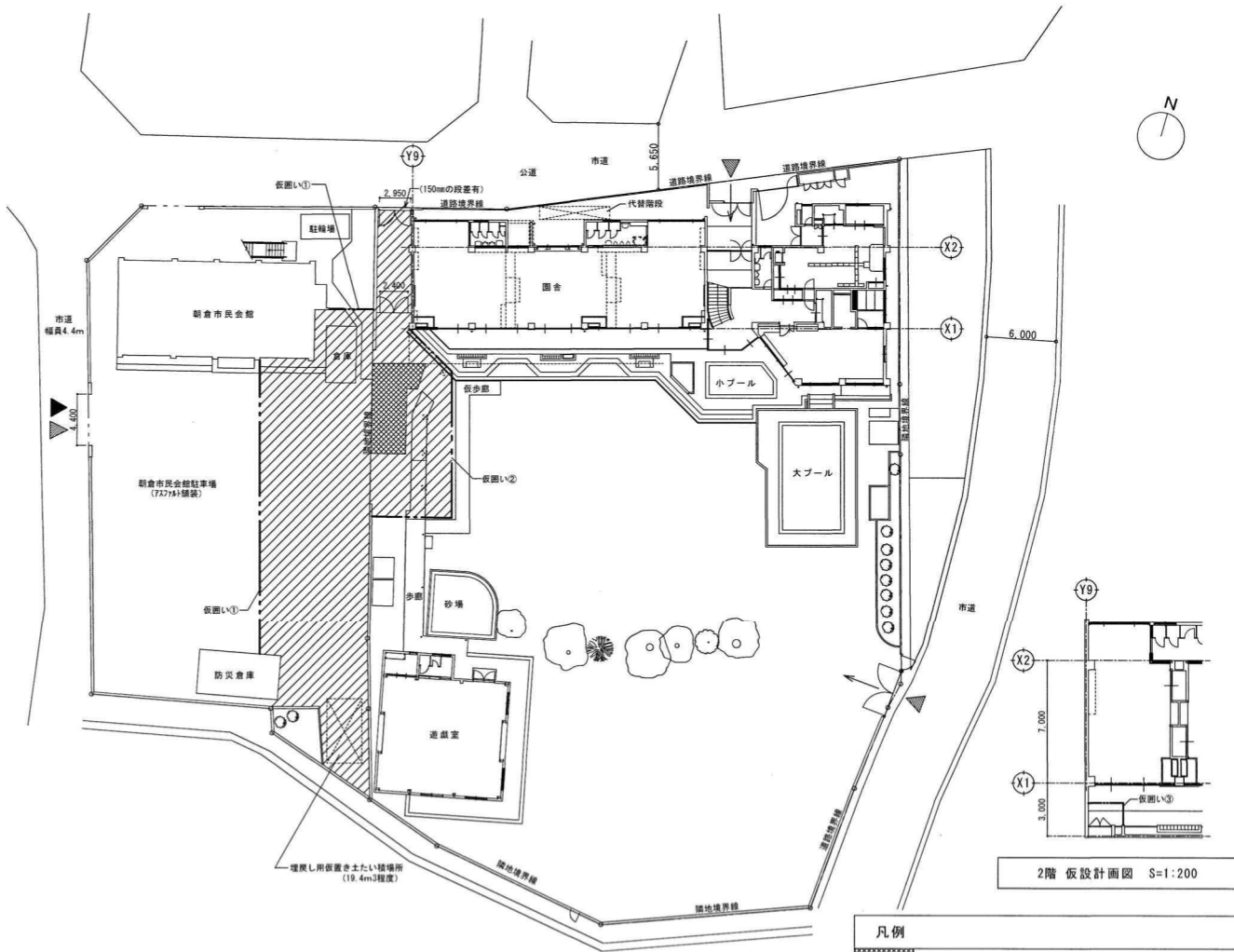
kosei
architect
design, inc.

コウセイアーキテクトデザイン株式会社
凸凹設計事務所



工事場所
高知県高知市朝倉東町24番41号

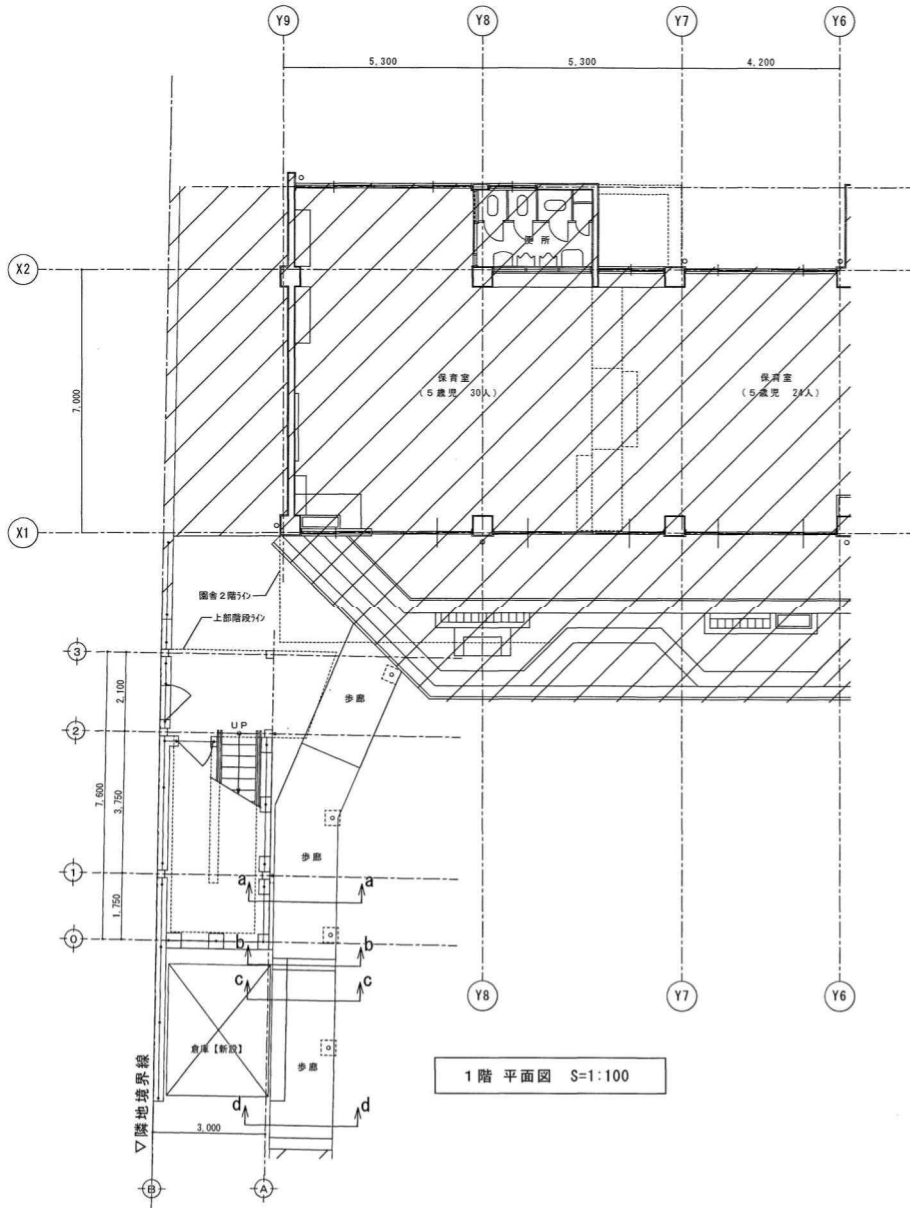
付近見取図



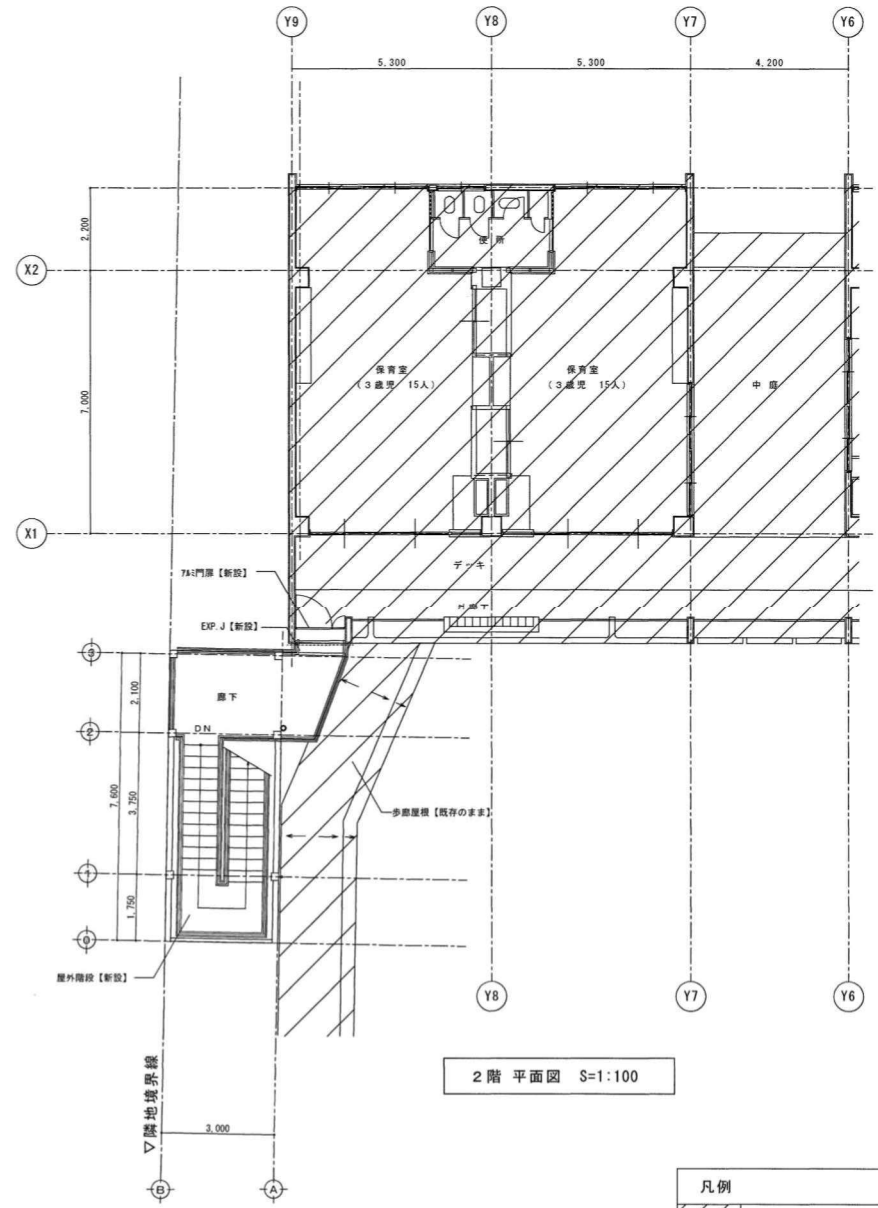
仮設計計画図 S=1:300

2階 仮設計計画図 S=1:200

凡例	
	階段新築位置
	工事ヤード・資機材置場・工事車両置場 ※朝倉市民会館駐車場にて重機等を使用する場合は、 既存舗装を傷めないよう敷鉄板等で適切に養生すること。
	施設利用者出入口
	工事関係者出入口
	通園ルートを示す
仮囲い	
①市民会館側：ガードフェンス(H1.8m)程度	
②保育園側：成型鋼板(H2.0m)	
③保育園2階：ガードフェンス(H1.8m)程度+メッシュ	



1階 平面図 S=1:100



2階 平面図 S=1:100

凡例			
【既存のまま】			

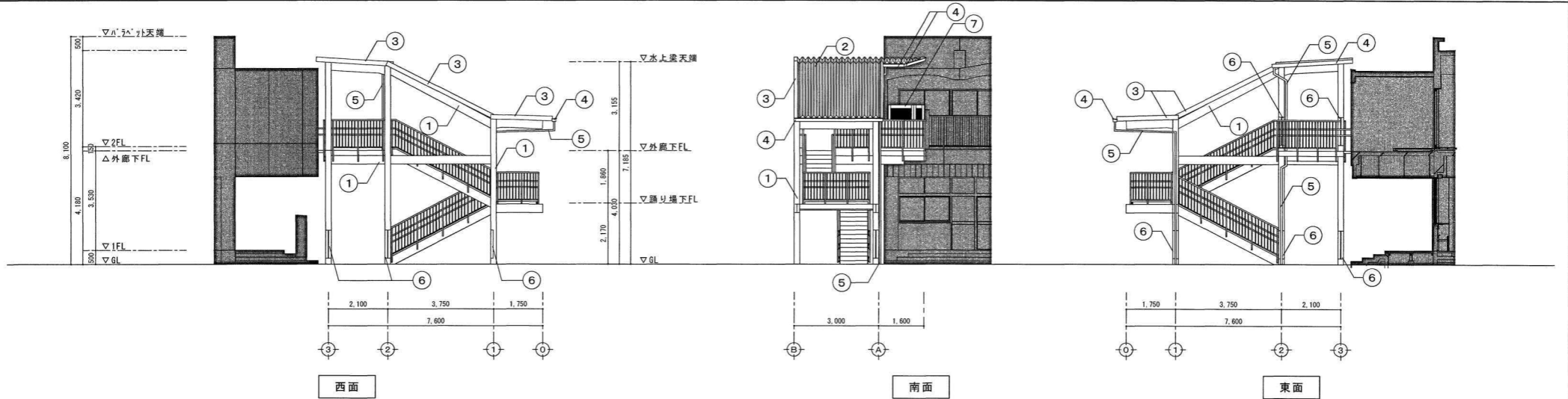
工事名	朝倉保育園屋外階段新築工事
図名	平面図
SCALE	1/100

DATE	2023.09
------	---------

kosei architect design, inc.	コウセイアーキテクトデザイン株式会社
	凸凹設計事務所
〒780-8050 高知市幡部979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-654-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生	

高知市都市建設部 公共建築課				SHEET NO.
係	係長	課長補佐	課長	A-06
小野	笹岡	松本	山本	

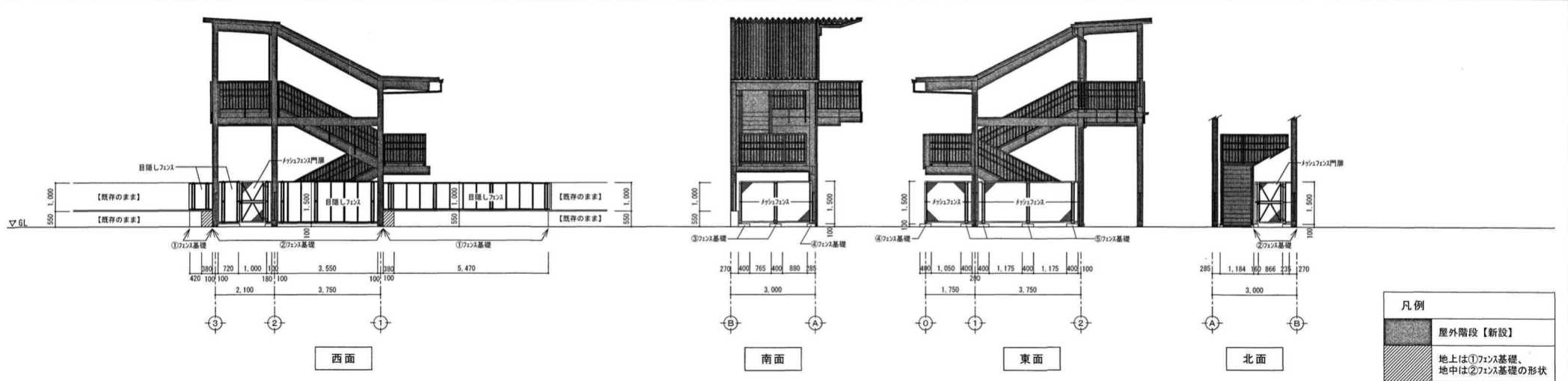
■立面図 S=1/100



凡例

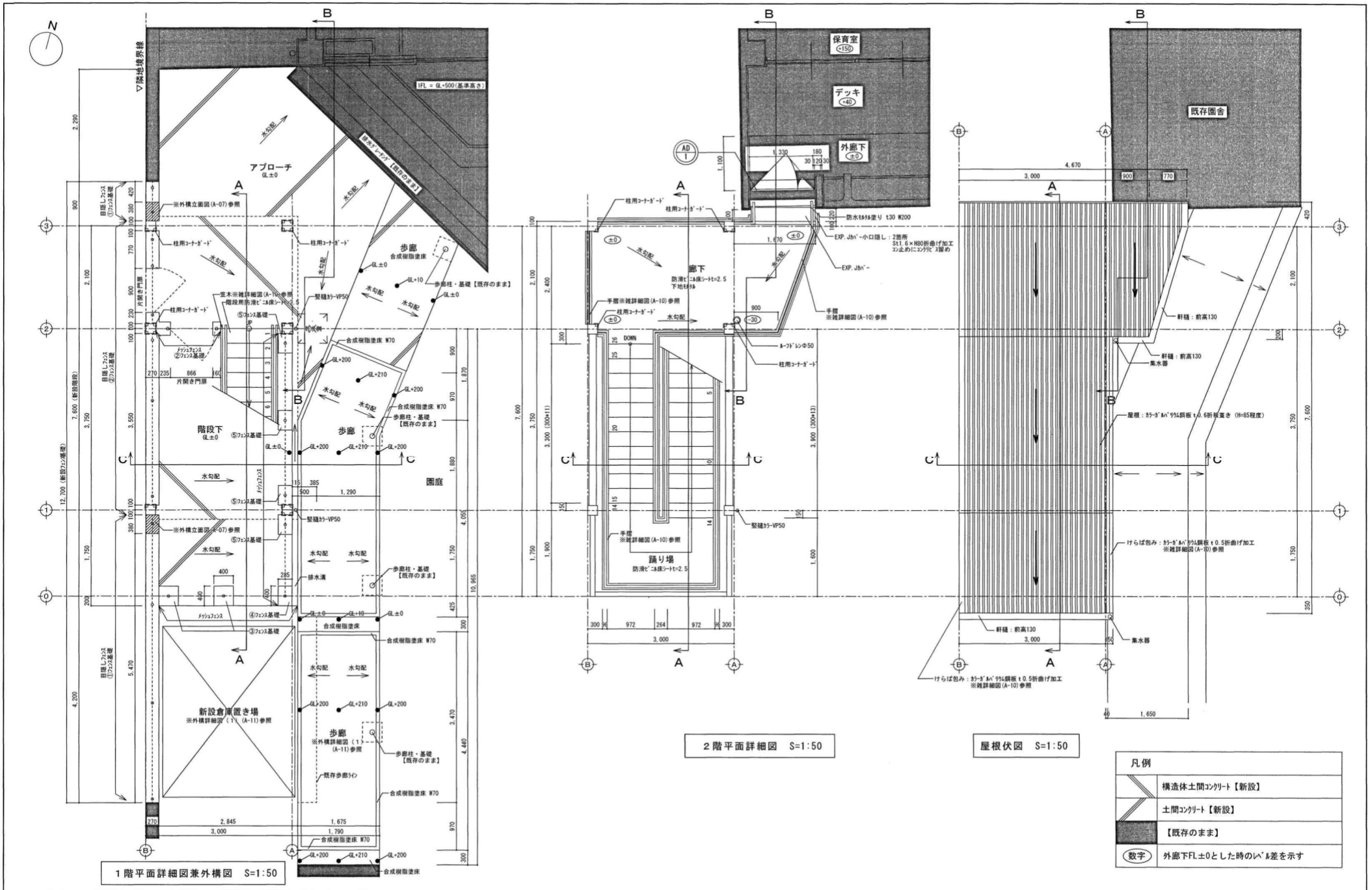
①	鉄骨：溶融垂鉛めっき処理	⑤	支柱：φ100 50φ
②	屋根：ガルバリウム鋼板 t.U.60 新葺き (H=80程度)	⑥	柱用コーナード：塩ビ製
③	けらば包み：ガルバリウム鋼板 t.0.5折曲げ加工※雑詳細図(A-10)参照	⑦	ガラス門扉
④	軒種：前高 W130		【既存のまま】

■外構立面図 S=1/100



凡例

[Hatched Box]	屋外階段【新設】
[Dotted Box]	地上は①フェリス基礎、 地中は②フェリス基礎の形状



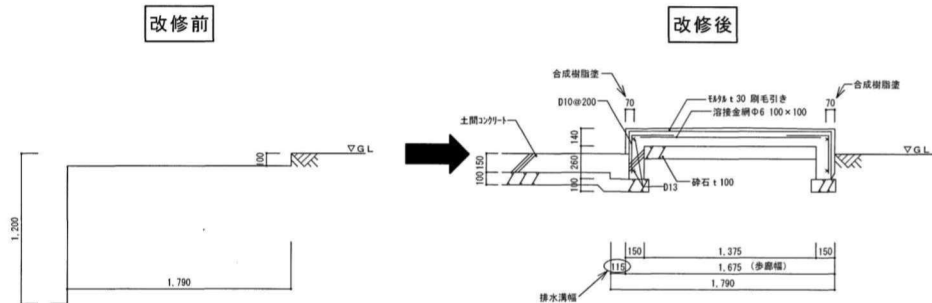
※特記なき限り全て【新設】とする
 ※鋼材は全て溶融亜鉛めっき処理を施す
 ※さら等手の届く範囲の角は面取りを施す
 ※雨水樹は別途関連工事で行う

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事
 図名 平面詳細図兼外構図・屋根伏図
 SCALE 1/50 DATE 2023.09

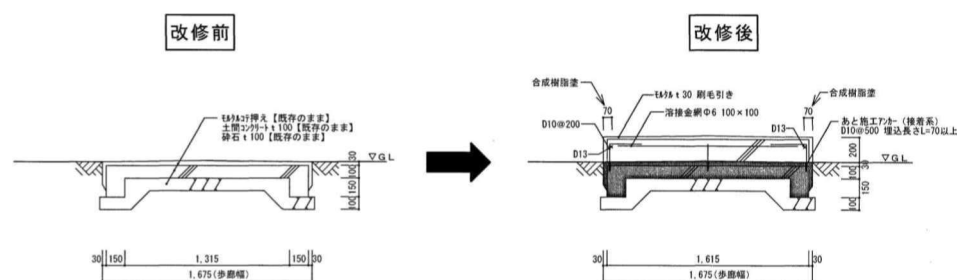
kousei architect design, inc.
 コウセイアーキテクトデザイン有限公司
 凸凹設計事務所
 〒780-8050 高知市朝倉979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田幸生

高知市都市建設部 公共建築課
 小野 係長 菅岡 課長補佐 鈴木 課長 田村
 SHEET NO. A-08

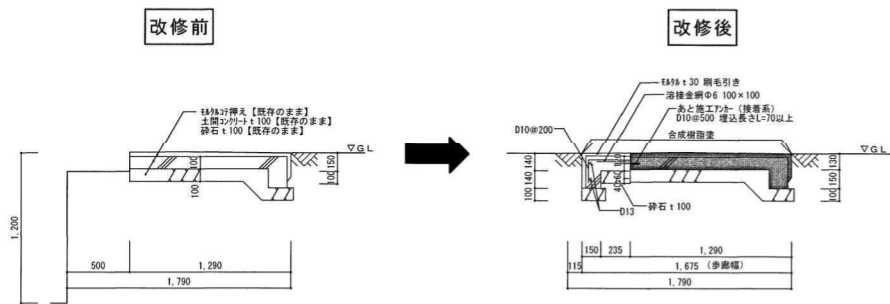
a 断面詳細図 S=1/30



d 断面詳細図 S=1/30



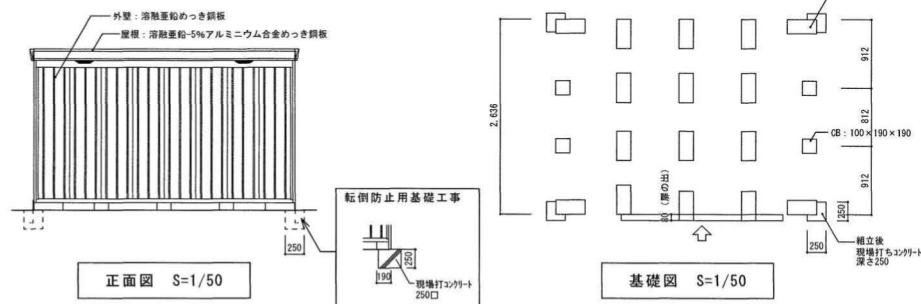
b 断面詳細図 S=1/30



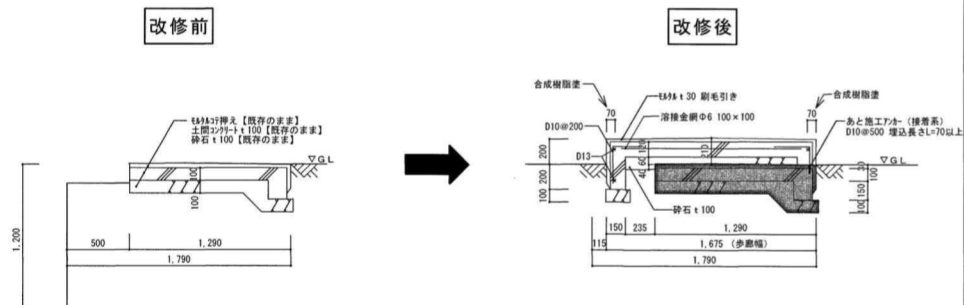
倉庫詳細図 S=1/50

【参考図】

外形寸法：10㎡以下（詳細はメーカー仕様とする）
雨樋、棚板、転倒防止設置工事、CB共



c 断面詳細図 S=1/30



※特記なき限り全て【新設】とする

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事

図名 外構詳細図(1)

SCALE 1/50

DATE 2023.09



コウセイアーキテクトデザイン有限公司
凸凹設計事務所

〒780-8050 高知市機部979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生

高知市都市建設部 公共建築課

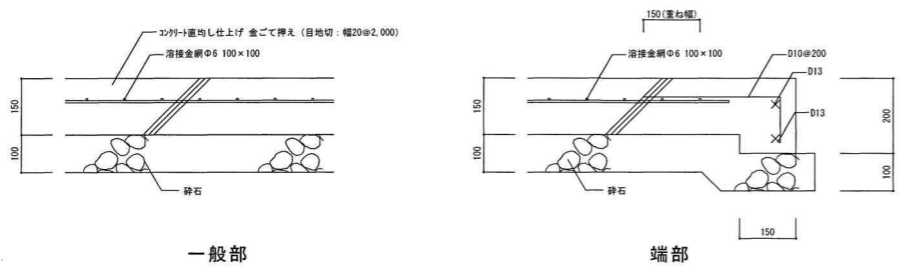
係	係長	課長補佐	課長
小野	笹岡	松本	小村

SHEET NO.

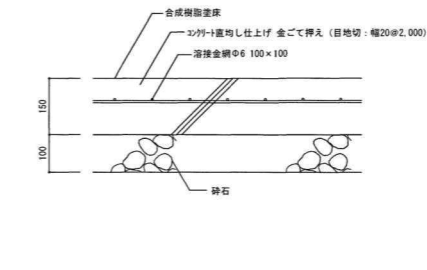
A-1 1

■外構詳細図 S=1/10、1/30

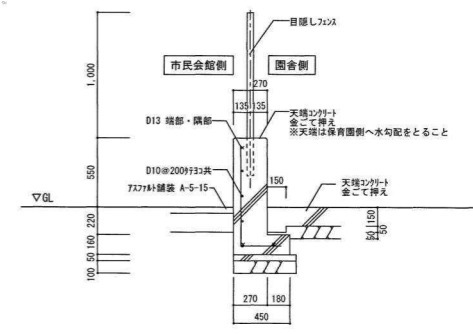
土間コンクリート詳細図 S=1/10



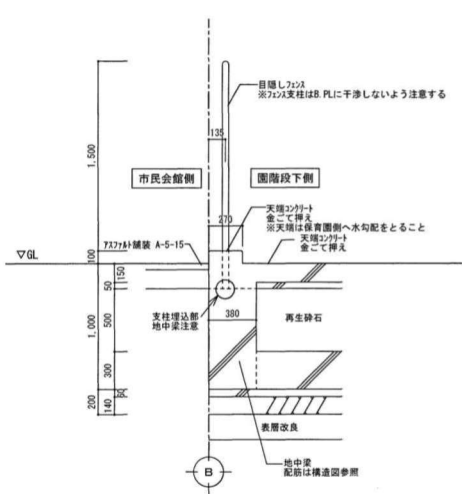
塗装土間コンクリート詳細図 S=1/10



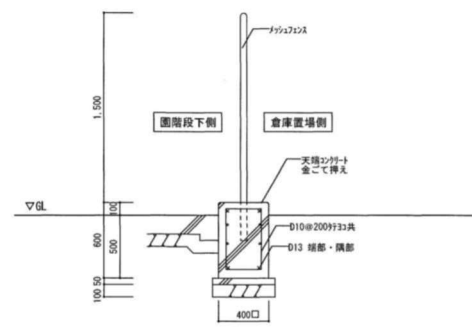
①フェンス基礎断面詳細図 S=1/30



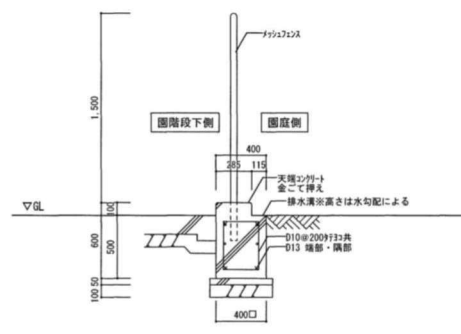
②フェンス基礎断面詳細図 S=1/30



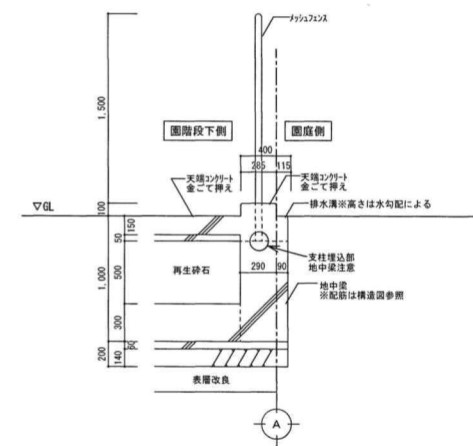
③フェンス基礎断面詳細図 S=1/30



④フェンス基礎断面詳細図 S=1/30



⑤フェンス断面詳細図 S=1/30



※特記なき限り全て【新設】とする
 ※フェンス基礎は5,000で誘発目地20×20 目地シーリング打ち (PS-2) を設ける
 ※フェンス基礎は園舎側出隅部分をW=30で面取りする

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事
 図名 外構詳細図 (2)
 SCALE 1/10、1/30 DATE 2023.09

kouei architect design, inc.
 コウエイアーキテクトデザイン株式会社
 凸凹設計事務所
 〒780-8050 高知市輪船979-7 (TEL)089-821-9077 (FAX)089-854-4440 一般建築士 第345839号 吉田孝生

高知市建設部 公共建築課
 係長 課長補佐 課長
 小野 曾岡 松本 山本
 SHEET NO. A-1.2

令第129条の2の4の事項

- 建築物に設ける建築設備にあっては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
 - 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び架設金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 - 風上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、架設すること。
 - 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合に鉄製の支柱を設けたものを除き、90cm以下とする。
 - 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかり厚きを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とする。
 - 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 - 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対し安全上支障のない構造とすること。
 - 建築物の部分を通して配管する場合には、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の破損防止のための措置を講ずること。
 - 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生じるおそれがある場合において、伸縮継手又は可換継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
 - 管を支持し、又は固定する場合には、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
 - 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 - 給湯設備は風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。湯水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1389号第5に規定する構造方法とすること。

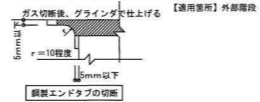
その他留意事項

- コンクリート打設後はコンクリート打設後コンクリート硬化遅延剤等を散布し適切な時間の経過後、高圧洗浄機等を用いたレタンスを完全に除去すること。
コンクリート硬化遅延剤の他コンクリートの凍・水平打ち継ぎ部のレタンス処理剤を用いる場合は下記の製品等参考にして採用の検討を行う事は可とするが、使用に際しては監督職員の承認を得ることとする。
トライテックス CB-20：水平打ち継ぎ部のレタンス処理剤
（レタンスの発生を抑制しコンクリート表面部の強化）
ディスパライトDV：鉛直打ち継ぎ部のレタンス処理
- コンクリート打設後5日間防水養生を行うこと。その間の軽作業は可とする。その後もコンクリート表面の乾燥は避けること。

（3）コンクリートの継ぎ部は石炭若しくは石炭質を使用する事、可能な限り微細角砕石の混入を避けること。

- 型枠は打設後3日間は鋼管の撤去は可とするが、セパレータの撤去作業は不可とする。
- 地下水位以下で漏水等懸念される部分のコンクリートセパレータは止水性に優れた物を用いること。

- 養生工事に際する留意点
JASS6に準じ圆形エンドタブを使用する場合の溶接技術者は該当する溶接工法、板厚及び溶接姿勢に応じたJIS Z 3841の溶接技能検定試験に合格した有資格者で、圆形エンドタブ工法のための溶接技術者技能付加試験等により監督職員より承認されたものとする。
見えが不明な部分のエンドタブはガス切断後切面はグラインダーで仕上げる。



- 溶融亜鉛メッキ部分の留意事項
 - 亜鉛メッキ仕様はHDZ55とし、電気亜鉛めっき部は1種0級とする。
 - スニップカット、ノンスカップ部分はスニップカット溶接部、ノンスカップ溶接のウェーブに35Rの内面孔を設け、メッキ層を防止するように計画する。なお、詳細は同等工程にて監督職員と協議すること。
 - 溶融亜鉛メッキ部の施工で環境汚染が生じる部分は監督職員と協議の後、(財)日本建築センター建設技術調査証明（調査技術）を取得した常温溶融メッキ工法にて溶融亜鉛メッキと同等の処理を行うこと。
 - 溶融亜鉛メッキを施すダイアフラムの角部はグラインダー処理（※はね飛ばし除去を行い、鋼板、H形鋼の角部はグラインダー等での処理を行うこと。【適用箇所】外物階段）

コンクリート打継ぎ部の補強

(1) 打継ぎ部の補強
2.4節以上経過し、標高6.3(a)の位置でコンクリートを打継ぐ場合は、打ち継ぎ部に下記の補強を行う。打継ぎ補強筋は、打継ぎ面を境に両側 L2以上定着させる。

1) 梁の場合
打継ぎ補強筋はL13とし、本数は腹筋の総段数プラス1段とする。

() 内 腹筋2段の場合

2) 床スラブの場合
打継ぎ補強筋は、下地主筋と同径、同ピッチとし、下地主筋の間に配する。

3) 柱、壁の場合
補強筋は不要とする
梁、床スラブの場合で、標高6.3(a)の位置以外で打継ぐ場合は、補強方法について構造設計書を提出し監督職員の承認を受ける。

山留めに関する注意書

- 山留めに使用する工法は「無震動無騒音工法」とするが、採用時には事前に監督職員と十分に協議して工法の選定を図ること。
- 山留め工法の選定の他、使用する山留め材料の他切等部設計に關しても安全であることを構造計算により確認した資料を事前に監督職員に提出し承認を得ること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2) 2015年度版

4-4 補筋筋

頂筋	600 ≤ D < 900	2-D10 (1段)
底筋	900 ≤ D < 1200	4-D10 (2段)
巾止筋	1200 ≤ D	D10 φ300以内
受筋		D10 φ1000以内で割り付ける。
受筋		D10 φ1000以内で割り付ける。

4-5 小梁及び片持梁

a) 小梁手

不連続端(外端) 連続端(内端)

○印内に継手中心部を設けること。ただし溶接継手の場合は梁面より500以上はなすこと。

定着

不連続端(外端) 連続端(内端)

b) 片持梁継手

不連続端(外端) 連続端(内端)

4-6 基礎梁及び基礎小梁

a) 基礎梁の継手及び定着

不連続端(外端) 連続端(内端)

b) 基礎小梁の継手及び定着

不連続端(外端) 連続端(内端)

4-7 梁の真直補強

補強筋は原則として工場製品(認定品)を使用する。
2. 認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。

5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着

5-1 鉄筋の折り曲げ及び定着

5-2 継手

継手位置は原則として下表によるが、右図でもよい。

上端筋	短辺方向	B	D
下端筋	短辺・長辺方向	A	B

5-3 片持ちスラブ

5-4 補強筋

5-5 補強筋

補強筋

6-1 定着及び継手

6-1 定着及び継手

6-2 壁配筋

6-3 補強筋

6-4 基礎

6-5 基礎

6-6 基礎

6-7 基礎

6-8 基礎

6-9 基礎

6-10 基礎

6-11 基礎

7-4 基礎と基礎梁

7-4 基礎と基礎梁

8-1 段

8-1 段

8-2 土間コンクリート

8-2 土間コンクリート

8-3 増し補強

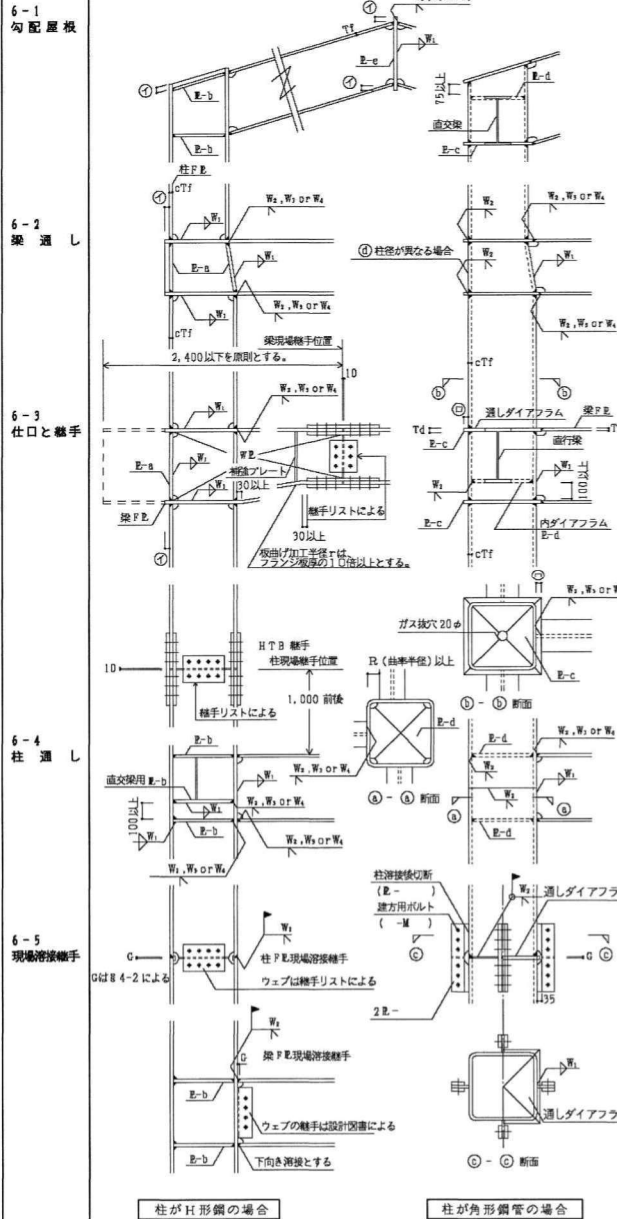
8-3 増し補強

8-4 増築予定

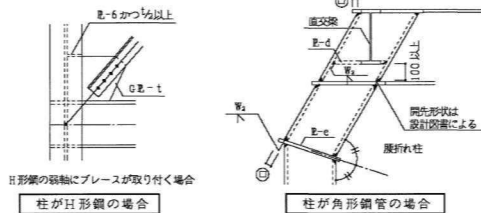
8-4 増築予定

鉄骨工作標準図 (2) 2015年度版

86 柱梁接合部及び継手



6-6 その他



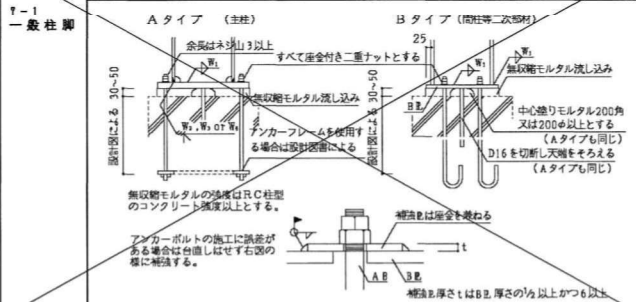
H形鋼の強軸にブレースが取り付け場合

柱がH形鋼の場合

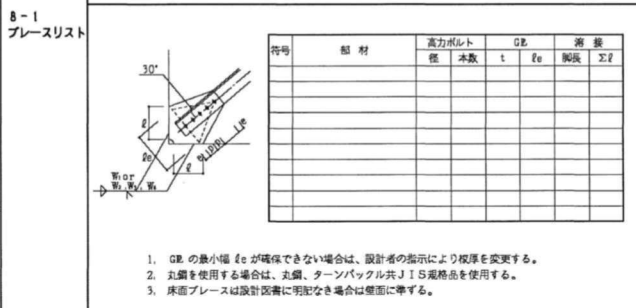
柱が角形鋼管の場合

1. パネルゾーンのEの厚さ
 1. E-a (鉛直スチフナ) 上下柱のF Eの厚い方より1サイズUP以上
 2. E-b (水平スチフナ) 仕口部に接続する梁の最大F Eより1サイズUP以上
 3. E-c (通しダイアフラム) 仕口部に接続する梁の最大F Eより2サイズUP以上かつ柱のF E以上
 4. E-d (内ダイアフラム) 仕口部に接続する梁の最大F Eより2サイズUP以上
 5. E-e (折れ曲がり部) 梁(柱)のF Eより1サイズUP以上
2. 出寸法
 - ① 25mmかつcTf以上
 - ② cTf≧25の場合 25
 - ③ cTf≧28の場合 30
3. 注記
 1. ダイアフラムの材質は特記仕様書による。特記なき場合は、接続する柱及び梁の1ランク上質とする。また接続する柱及び梁の強度及び材質の異なる場合は、強度は大きい方に同じとし、材質は上の方の1ランク上質とする。
 2. ①(6-2項)上下階で柱径が異なる場合の板厚は上下階性の厚い方、材質は上下階性と同一とし、折り曲げ加工又は溶接加工とする。
 3. ハンチング部でF Eを折曲げる場合はE210Tfとし補強プレートを付ける。ただし、勾配のゆるい場合(1/6程度)は不要。
 4. ダイアフラムと梁フランジの接続部は、梁フランジはダイアフラムの厚みの内側に溶接すること。(告示1454)
 5. 現場溶接を行う場合は工事監理者の承認を得、養生に十分配慮して行うこと。

87 柱脚

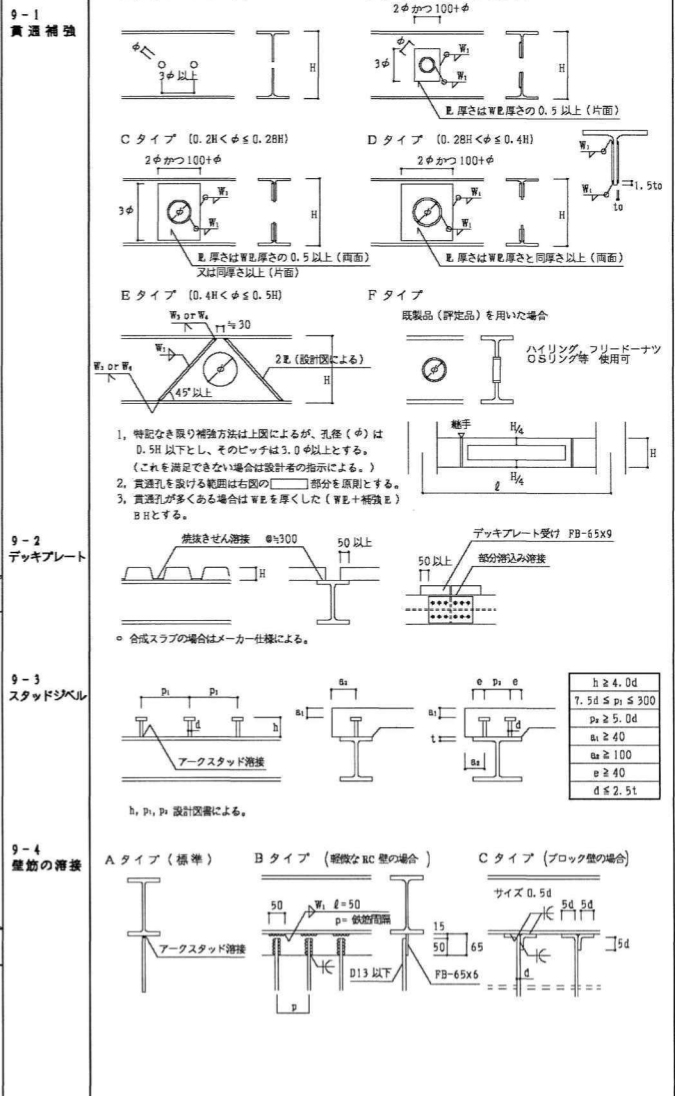


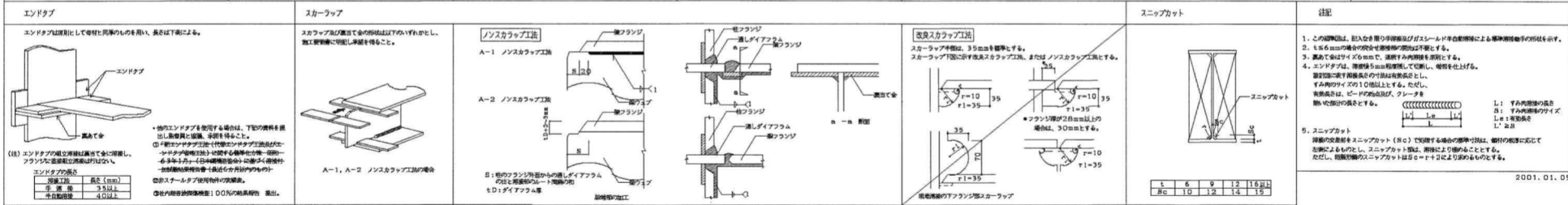
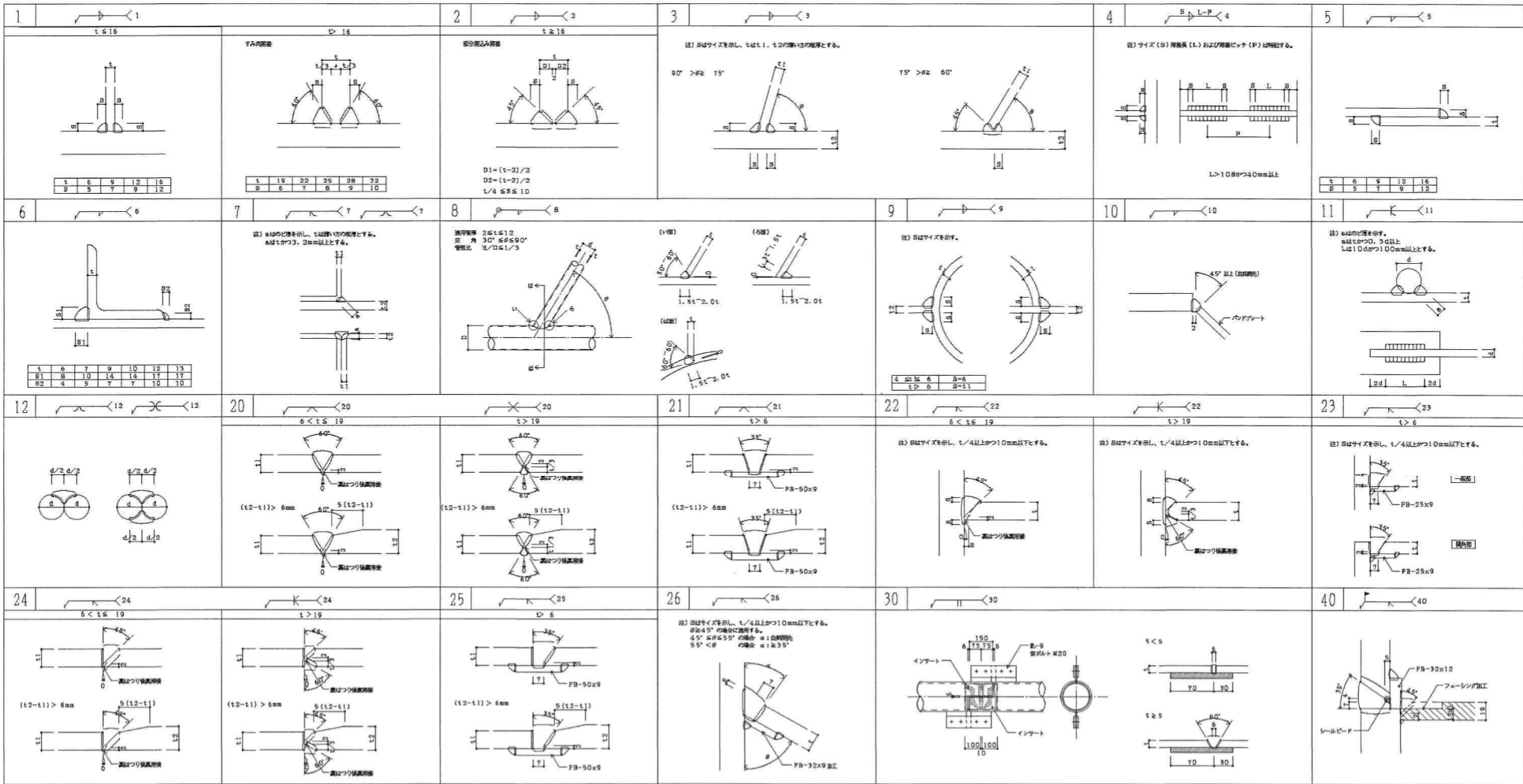
88 壁面ブレース

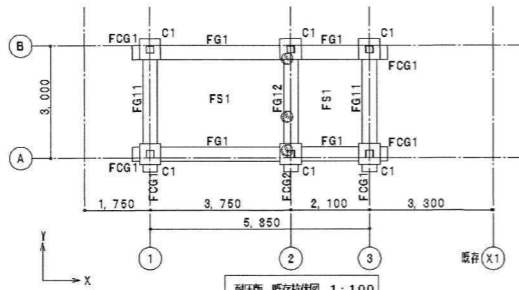


1. GEの最小値 de が確保できない場合は、設計者の指示により板厚を変更する。
2. 丸鋼を使用する場合は、丸鋼、ターンバックル共 JIS規格品を使用する。
3. 床面ブレースは設計図書に明記なき場合は壁面に準ずる。

89 その他



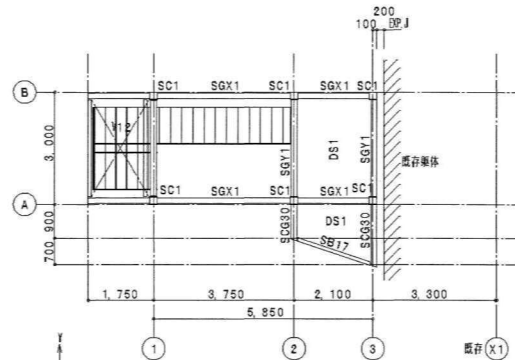
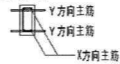




1階既設、既存柱状図 1:100

特記無き限り下記による。

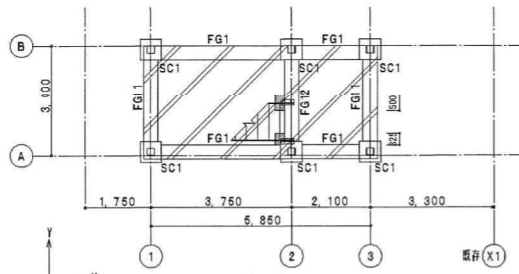
1. FS符号は副圧盤を示し、符号の向きは主筋方向を示す。
2. ②は既存既設柱(300φ)を示す。
3. 副圧盤から土間コンクリートの層には再生砕石を充填すること。
4. 主筋の配筋は下図を基準とする。



2階状図 1:100

特記無き限り下記による。

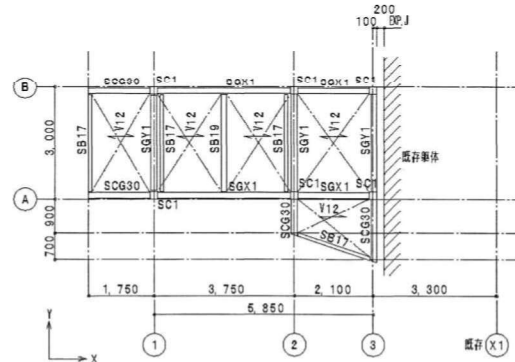
1. DSは柱に型枠用デッキを用いた構造スラブを示し、符号の向きは主筋方向を示す。



1階伏図 1:100

特記無き限り下記による。

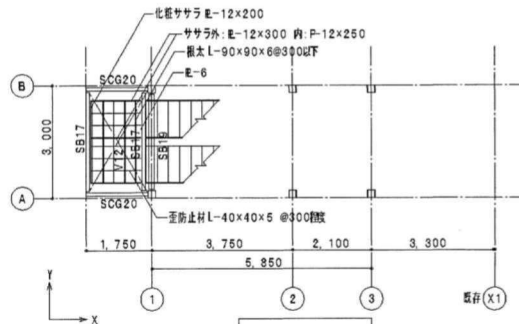
1. 斜線は土間コンクリートの範囲を示す。
2. 点線は基礎梁側面増し打ち部を示す。



屋根伏図 1:100

特記無き限り下記による。

1. 斜線は屋根断熱方法を示す。
2. 屋根面小梁は大梁の勾配に直交もしくは平行に設置すること。



中視張り場伏図 1:100

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事

図名 伏図

SCALE 1/100

DATE 2023.09



コウセイアーキテクトデザイン有限公司
凸凹設計事務所

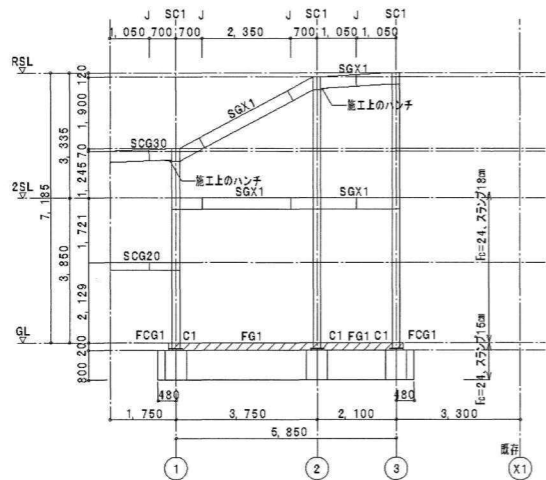
高知市都市建設部 公共建築課

SHEET NO.

係	係長	課長補佐	課長
小野	笹岡	松本	小田

S-08

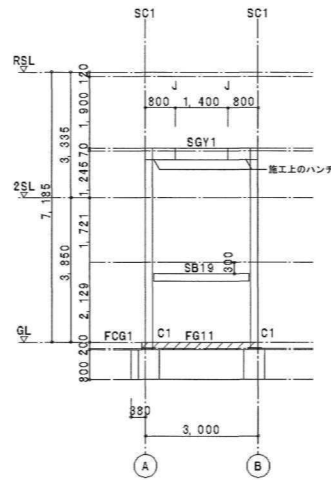
〒780-8050 高知市鴨部979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生



A通り軸断面 1:100

特記無き限り下記による。

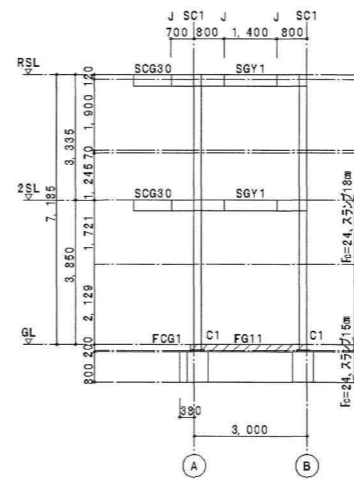
1. は増し打ちを示す。



1通り軸断面 1:100

特記無き限り下記による。

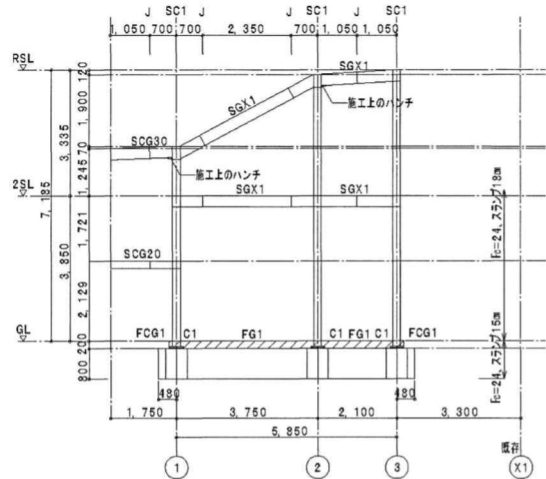
1. は増し打ちを示す。



3通り軸断面 1:100

特記無き限り下記による。

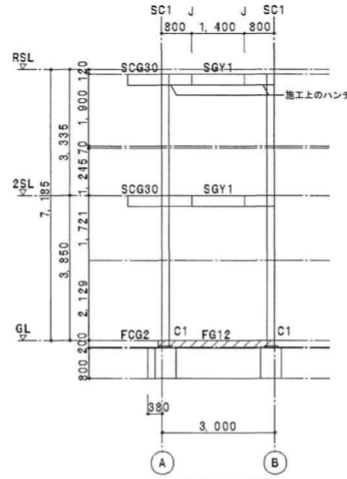
1. は増し打ちを示す。



B通り軸断面 1:100

特記無き限り下記による。

1. は増し打ちを示す。



2通り軸断面 1:100

特記無き限り下記による。

1. は増し打ちを示す。

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事 図名 軸組図 SCALE 1/100 DATE 2023.09		kouei architect design, inc. コウセイアーキテクトデザイン有限公司 凸凹設計事務所 〒780-8050 高知市輪船979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生	高知市建設部 公共建築課 係長 小野 係長補佐 菅岡 課長 松本 課長 池村 S-09	SHEET NO. S-09
--	--	---	---	----------------

梁継手リスト 1:30

特記無き限り下記による。

- 鋼材材質はSS400、高力ボルトはF8Tとする。

	H-300x150x6.5x9x13		H-200x100x5.5x8x8	
フランジ	16-M20	2E-9x150x290 4E-9x60x290	フランジ	16-M16 2E-16x100x290
ウェブ	4-M20	2E-6x200x170	ウェブ	4-M16 2E-6x140x170

水平ブレースリスト

特記無き限り下記による。

- 鋼材材質はSS400、高力ボルトはF8Tとする。
- ブレースシート形状は監理職員と協議し、梁交点をブレースポイントとして計画すること。

符号	断面	備考
BT 2	M12	JISブレース、ブレースシート E=6 x 6 以上、有効溶接長さ60mm以上、S=6

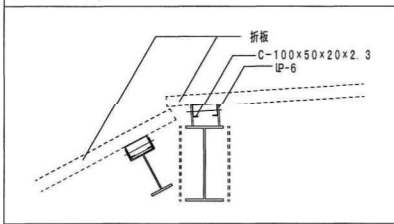
スラブリスト

特記無き限り下記による。

- フラットデッキは施工時作業荷重を考慮して施工者の責任においてデッキ板厚を最終決定すること。
参考板厚：1.0mm
- フラットデッキ(捨て型枠)の鋼材は亜鉛メッキS550 Z12とする。
- コンクリートスラブを打設する梁上端は不メッキ処理を施した上で梁上端に頭付きスタッドを打設すること。

符号	厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
DS1	150	上端	D10、D13 #200	D10、D13 #200	短辺、長辺共に上端鉄筋端部は90°、先端4フックを設けること。
		下端	D10 #200	D10 #200	
FS1	300	上端	D13 #200	D13 #200	配筋標準図(2)7-3の定着部参照
		下端	D13 #200	D13 #200	
土間 コンクリート	150	上端	D10、D13 #200	D10、D13 #200	短辺、長辺共に上端鉄筋端部は90°フックを設けること。
		下端	D10 #200	D10 #200	

タイトフレーム周辺詳細図

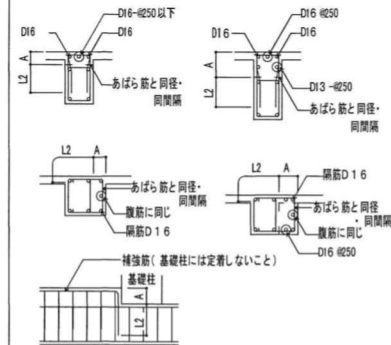


梁のコンクリート増し打ち補強(共通事項)

【共通事項】

コンクリート打継部は先行コンクリート打設後にコンクリート硬化遅延剤等散布の後、高圧洗浄を行いレタナスを除去すること。なお、洗浄時には骨材が浮かないように注意をし洗浄すること。

- 増し打70未満の場合は、補強筋を必要としない。
- $70 \leq A \leq 200$
- $200 < A$



工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事

図名 断面リスト(2)

SCALE 1/30 DATE 2023.09



コウセイアーキテクトデザイン株式会社
凸凹設計事務所

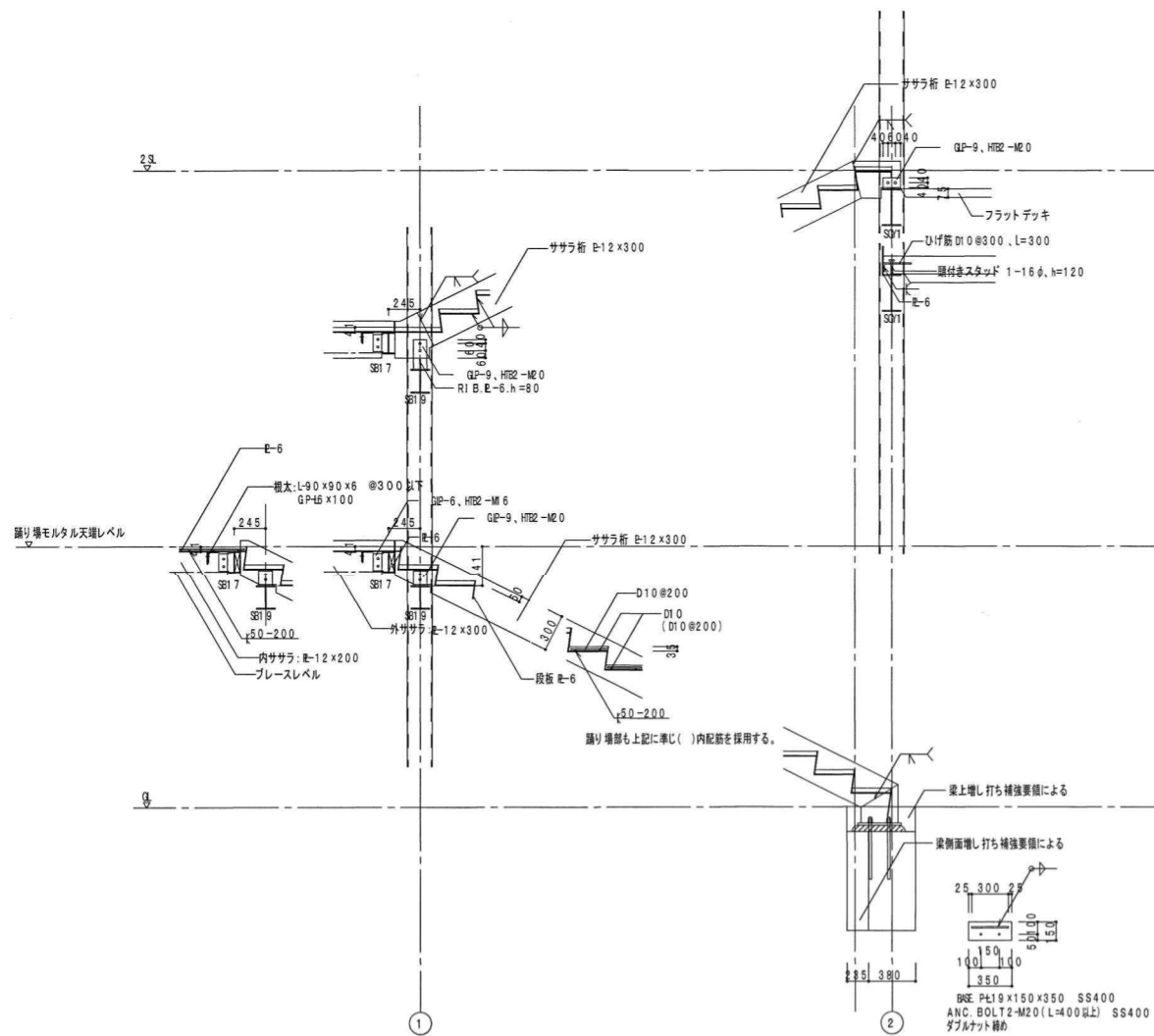
〒780-8050 高知市幡部979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生

高知市都市建設部 公共建築課

SHEET NO.

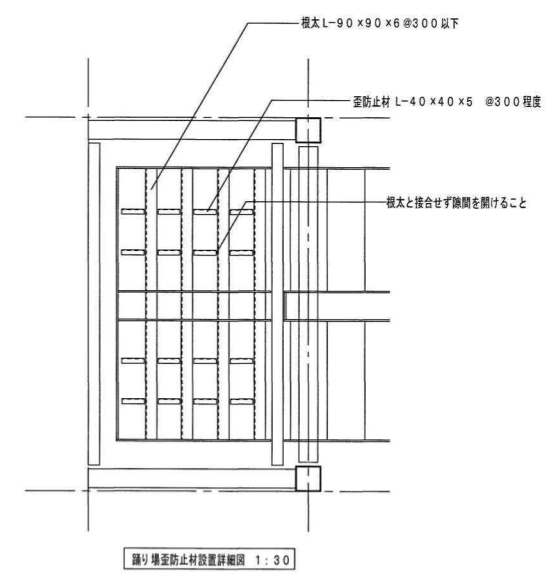
係	係長	課長補佐	課長
小野	松岡	松本	松本

S-11



階段断面詳細図 1:30

特記無き限り下記による
 1. 踊り場のひげ筋防止筋の配筋は段部の配筋D10@200クロスとし、下筋はEに溶接すること。

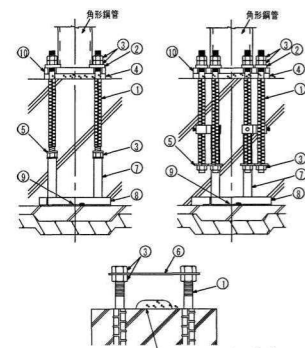


踊り場歪防止材設置詳細図 1:30

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事 図名 階段詳細図 SCALE 1/30 DATE 2023.09		会社名 朝倉セイアーキテクトデザイン株式会社 凸凹設計事務所 〒780-8050 高知市鶴舞979-7 (TEL)089-821-9077 (FAX)089-854-4440 一級建築士 第345839号 吉田孝生	高知市都市建設部 公共建築課 係長 松本 健 課長補佐 小野 浩 課長 松本 健 課長 小野 浩	SHEET NO. S-12
---	--	---	--	-------------------

1. 工法概要

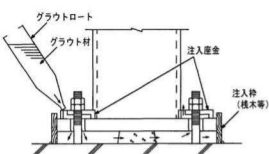
1.1 構成部材



- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ ベースバックグラウト(グラウト材)
- ⑤ 定着座金
- ⑥ テンプレート
- ⑦ フレームポスト
- ⑧ フレームベース
- ⑨ スチコンアンカー(コンクリートアンカー)
- ⑩ ベースプレート

(注)上記①~⑥の構成部材はベースバック構成部品として供給される。
(注)上記⑦~⑩は現場状況により仕様となる場合がある。

1.2 柱脚の定着方法概要

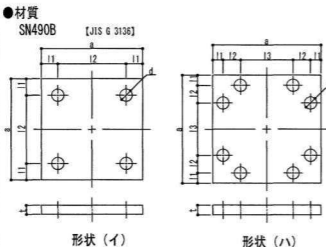


2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235	●
	STRK400	
295	BGR295	●
	TS295	

3. 構成部材・寸法

3.1 ベースプレート



3.3 Mナット

呼び	A	B	単位 mm
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

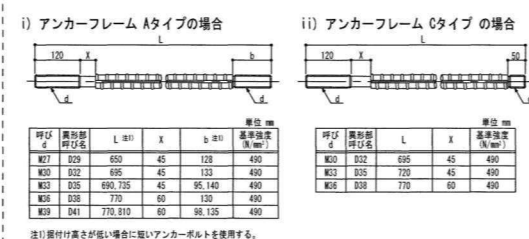
3.4 定着座金

適用アンカーボルト	e1	t	d	材質
M27	55	9	28	S400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	69	12	40	

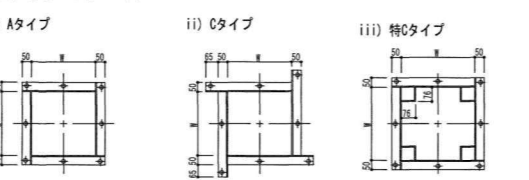
3.5 注入座金

記号	適用アンカーボルト	e1	e2	c	t	d	材質
PK27	M27	32	42	101	18	28	S400
PK30	M30	32	42	101	18	31	
PK33	M33	35	45	110	18	34	
PK36	M36	35	45	110	18	37	
PK39	M39	38	48	118	18	40	

3.2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

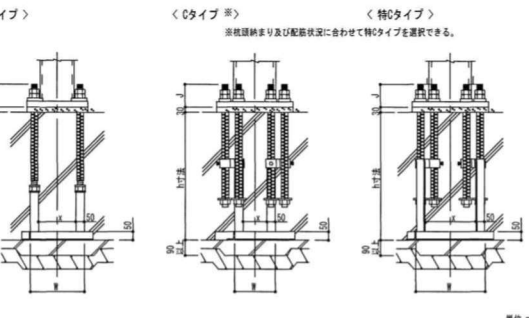


3.6 フレームベース



3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースバックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。



4. コンクリート柱型

4.1 形状・材質

●形状
形状は正方形とし、寸法は下表に記載の値とする。

呼び	鋼種	L	X	単位 mm
M27	D29	650	45	128 490
M30	D32	695	45	133 490
M33	D35	690, 735	45	95, 140 490
M36	D38	770	60	130 490
M39	D41	770, 810	60	98, 135 490

4.3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。
*ただし基礎立上がり高さが90mmを超え300mm以下の場合は、Lシリーズを使用することができる。

4.4 特記事項

- 採用
 - 下表標準柱型寸法からの変更あり(「柱型寸法最大・最小値一覧」による)
 - 下表標準配筋仕様からの変更あり
 - 立上り筋に頂部フックが必要

5. 工場製作(溶接)

- 組立
 - ベースプレートの中心線(「桁」線)に柱材軸心を合わせる。
 - 溶接方法(完全溶込み溶接)
 - 完全溶込み溶接とする。(JASS 6 鉄骨工事による)

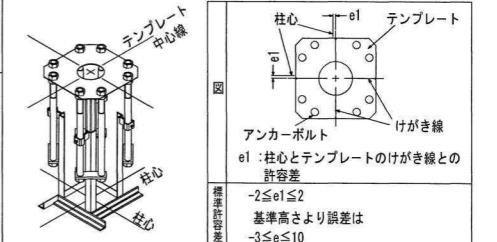
部	溶接方法	溶接厚(1mm)	ルート部材(角形)		ルート部材(円形)		根元角部(1°)		溶接
			標準値	許容差	標準値	許容差	標準値	許容差	
縦	7	-2.0 (-3.0, +0.0)	2	-2.1 (-2.2, 0)	01.45	-2.5, +0.0 (-3.0, +0.0)	01.30	下向き	
									2
横	6	-2.0 (-3.0, +0.0)	2	-2.1 (-2.2, 0)	01.45	-2.5, +0.0 (-3.0, +0.0)	01.30	下向き	
									2

- 予熱
 - 予熱(鋼材表面温度)が5℃以上でのベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準値により行う。その他必要に応じて適切な予熱とする。
- 検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。
- 施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6.1 基礎工事

- 柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。
- 6.2 アンカーボルト据付け
 - アンカーボルト(フレーム)の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。
 - フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。
 - 位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



6.3 配筋およびコンクリート打設

- 配筋はアンカーボルト(フレーム)との取り合いを考慮する。
- コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6.4 建方

- レベルモルタルはベースバックグラウト(グラウト材)を使用し、大きさは右図による。

6.5 アンカーボルトの本締め(弛み止め)

- 本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6.6 ベースバックグラウト(グラウト材)の注入

- グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋(6kg)に対して、計量カップで1.0~1.12の水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。
- グラウト材の注入は、グラウトローを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

- 本工法は、管理者又は施工者(元請)の管理のもとで実施するものとする。
- 本工法のうち6. 2 アンカーボルト据付け及び6. 6 ベースバックグラウトの注入は、ベースバック・セレクトベース施工技術委員会によって認定された有資格者(ベースバック施工管理技術者・施工技能者)が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。
- ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

採用	ベースバック記号	柱	ベースプレート										コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		最低h寸法	J寸法			
			外形(mm)	板厚(mm)	材質	形状	寸法(mm)				本数	呼び	基準強度(N/mm ²)	アンカーボルト	寸法D(mm)		標準フレーム	寸法B(mm)	標準フレーム	寸法C(mm)					
							a	t	11	12					13	d							標準フレーム	寸法D(mm)	寸法C(mm)
	15-12V	□-150×150	t≤12	SN490B	(イ)	300	28	50	200	-	φ45	4-M27	490	A	500	-	12-016	D13#100	21以上	250	-	150	-	550	135
	17-12V	□-175×175	t≤12	SN490B	(イ)	320	32	45	230	-	φ45	4-M30	490	A	530	-	12-019	D13#100	21以上	280	-	180	-	600	135
●	20-09V	□-200×200	t≤9	SN490B	(イ)	360	28	50	260	-	φ45	4-M30	490	A	560	-	12-016	D13#100	21以上	310	-	210	-	600	135
	20-12V	□-200×200	t≤12	SN490B	(イ)	360	32	50	260	-	φ50	4-M33	490	A	560	-	12-019	D13#100	21以上	310	-	210	-	600	135
	25-09V	□-250×250	t≤9	SN490B	(イ)	420	32	55	310	-	φ55	4-M36	490	A	610	-	12-019	D13#100	21以上	360	-	260	-	650	150
	25-12V	□-250×250	t≤12	SN490B	(イ)	420	36	55	310	-	φ55	4-M39	490	A	630	-	12-019	D13#100	21以上	370	-	270	-	650	150
	25-16V	□-250×250	t≤16	SN490B	(ハ)	450	32	50	80	190	φ50	8-M33	490	C	620	640	12-019	D13#100	21以上	240	440	140	300	650	135
	30-09V	□-300×300	t≤9	SN490B	(イ)	480	36	60	360	-	φ55	4-M39	490	A	680	-	12-022	D13#100	21以上	420	-	320	-	650	150
	30-12V	□-300×300	t≤12	SN490B	(ハ)	520	32	50	80	260	φ50	8-M30	490	C	700	710	12-022	D13#100	21以上	310	510	210	370	650	135
	30-16V	□-300×300	t≤16	SN490B	(ハ)	520	40	50	80	260	φ55	8-M36	490	C	710	710	12-022	D13#100	21以上	310	510	210	370	700	150
	30-19V	□-300×300	t≤19	SN490B	(ハ)	550	50	50	80	290	φ55	8-M36	490	C	740	740	12-022	D13#100	21以上	340	540	240	400	700	150

ジャストベース (JE II型) 柱脚工法設計施工標準図

(財) 日本建築センターBCJ評定-STO153-08 (令和4年10月21日付)

(角形鋼管仕様)

● 柱脚: 角形鋼管 (F 235N/mm²) - STKR400, BCP235, SHC400B・C (F 295N/mm²) - BCR295, ACR295, TSC295 (F 355N/mm²) - STKR490, BCP235, BCP251, SHC400B・C
● 基礎コンクリート: 普通コンクリート (21・24N/mm²) 以上 30N/mm² 以下
● 鉄筋: 異形鉄筋 S295 (D13, D16), S345 (D19~D25)

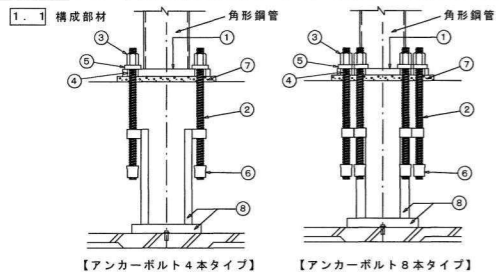
● 柱脚の選定: 別冊「ジャストベースカタログ」により設計者が選定する。
● ベースプレートの溶接: 別冊「工場製作管理要領書」により鉄骨製作工場にて溶接を行う。
● 現場施工: 別冊「ジャストベース施工ガイド」によりジャストベース認定施工業者が行う。

資料番号: JB (JE II) - 04-0-1

コトブキ技研工業株式会社

広島 TEL 0823-70-0721 FAX 0823-70-0722

1. 柱脚構成部材及び基礎選り標準図



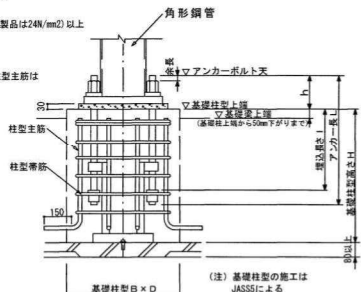
- ① ベースプレート
- ② アンカーボルト
- ③ ロックナット及び固定用クサビ
- ④ ジャストリング
- ⑤ 座金
- ⑥ 定着ナット及び固定用クサビ
- ⑦ 無収縮モルタル
- ⑧ フレーム部材 (テンプレート含む)

(注) 12本アンカーボルトタイプの図は省略

1.2 基礎選りの標準図

※設計基準強度 (F) は 21N/mm² (一部製品は 24N/mm²) 以上 30N/mm² 以下の範囲です。

※ジャストベース (JE II型) 工法の柱型主筋は頂部フックが不要です。
※トップフープはダブルフープ。



(注) 基礎柱型は JASS による

2. アンカーボルト・ロックナット・定着ナット・座金・ジャストリング

2.1 アンカーボルト (材質: JB-SD390・JB-SD490)

呼径	D	L	d	e
D29 (SD490)	31.7	660	M8	20
D35 (SD390)	38.1	720	M8	20
D35 (SD490)	38.1	725	M8	20
D38 (SD490)	41.9	785	M8	20
D41 (SD490)	45.4	880	M8	20
D51 (SD390)	57.5	990	M8	20

2.2 ロックナット (材質: S45C 熱処理H)

呼径	B	C	H
D29	46	53.1	56
D35	55	63.5	64
D38	60	69.3	64
D41	65	75.0	64
D51	80	92.4	76

2.3 定着ナット (材質: S45C 熱処理H)

呼径	φA1	φA2	H	φd	h	e
D29	54	47	56	23.2	9.5	10
D35	64	58	64	34.3	3.30	10
D38	69	63	64	37.5	3.55	10
D41	74	69	64	40.3	3.65	10
D51	95	90	76	50.0	4.50	10

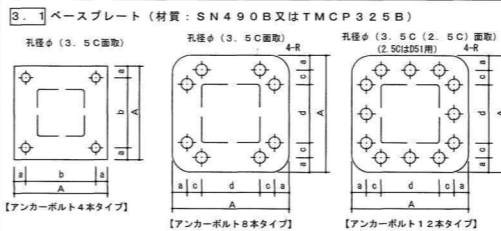
2.4 座金 (材質: SS400)

呼径	φD	φd	t
D29	74	34	19
D35	88	41	22
D38	94	45	25
D41	100	48	25
D51	119	59	28

2.5 ジャストリング (材質: S25C又はFCD450-10)

呼径	外リング	内リング	H	φ		
D29	51.0	42.8	42.3	33.5	26	110
D35	59.0	49.8	49.2	40.0	32.40	110
D38	65.0	54.9	54.2	44.0	48	110
D41	69.0	58.8	58.0	47.5	56	110
D51	84.5	72.4	71.6	59.5	64.5	90

3. ベースプレート



ジャストベース製品記号	タイプ	材質	t	A	a	b	c	d	φ	コーナー
J150-12N	4本	SN490B	28	300	45	210	—	—	—	52
J175-12N	4本	SN490B	32	325	45	235	—	—	—	52
J200-09N	4本	SN490B	32	350	45	260	—	—	—	52
J200-12N	4本	SN490B	32	380	55	270	—	—	—	60
J250-09N	4本	SN490B	36	430	55	320	—	—	—	60
J250-12N	4本	SN490B	40	430	55	320	—	—	—	60
J250-16N	8本	SN490B	40	480	50	—	75	230	60	80
J300-09N	4本	SN490B	40	480	55	370	—	—	—	60
J300-12N	8本	SN490B	36	510	45	—	65	290	52	80
J300-16N	8本	SN490B	40	540	60	—	75	270	60	80
J300-19N	8本	TMCP258	45	540	60	—	75	270	60	80
J350-12N	8本	SN490B	40	580	55	—	75	320	60	80
J350-16N	8本	TMCP258	50	600	55	—	75	340	60	80
J350-19N	8本	TMCP258	50	640	75	—	85	320	66	80
J350-22N	8本	TMCP258	55	640	75	—	85	310	70	80
J400-12N	8本	SN490B	40	640	60	—	75	370	60	80
J400-16N	8本	TMCP258	45	670	70	—	85	360	66	80
J400-19N	8本	TMCP258	50	710	75	—	85	370	70	80
J400-22N	12本	TMCP258	60	710	70	—	85	400	66	80
J450-22N	12本	TMCP258	60	710	70	—	85	400	66	80
J450-16N	12本	TMCP258	50	710	65	—	85	410	66	80
J450-19N	12本	TMCP258	55	740	75	—	85	420	66	80
J450-22N	12本	TMCP258	60	760	80	—	95	410	70	80
J450-25N	12本	TMCP258	60	760	80	—	95	410	70	80
J500-19N	12本	TMCP258	55	800	80	—	95	450	70	80
J500-22N	12本	TMCP258	60	840	85	—	95	480	70	80
J500-25N	12本	TMCP258	65	840	85	—	105	460	85	80
J550-19N	12本	TMCP258	60	850	75	—	95	510	70	80
J550-22N	12本	TMCP258	65	920	75	—	95	580	70	80
J550-25N	12本	TMCP258	65	920	90	—	105	530	85	80

4. 溶接施工

4.1 溶接

● 角形鋼管のベースプレートへの溶接は変位溶接とする。
● 溶接条件は JASS 6 に準じることによる。

■ 溶接方法 (変位溶接)

溶接方法	溶接部の適用板厚 t (mm)	溶接部の適用板厚 t (mm)		溶接部の適用板厚 t (mm)		
		溶接部の適用板厚 t (mm)	溶接部の適用板厚 t (mm)	溶接部の適用板厚 t (mm)	溶接部の適用板厚 t (mm)	
溶接部の適用板厚 t (mm)	6以上	7	-2	-2	45	-2.5
	9	+∞	2	+1	35	+∞
溶接部の適用板厚 t (mm)	6以上	6	-2	-2	45	-2.5
	7	+∞	2	+1	35	+∞

※溶接姿勢は下向きを原則とする

4.2 溶接部の検査

● 超音波探傷検査とし、合格の判定は日本建築学会「鋼構造物溶接部の超音波探傷検査規程・解説」による。

5. 現場施工

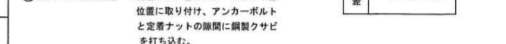
特記以外は元請会社の施工とする。

5.1 捨てコンクリート地盤 (元請施工)

● 基礎柱下部の捨てコンクリートは厚さ 80mm 以上とし、上面をコテで平滑に仕上げることによる。上面レベルのチェックを行う。

5.2 フレーム及びアンカーボルトの設置 (※1)

- ① フレームベース設置: 柱中心地盤に対し、平面位置を調整する。レベル調整用ボルトでフレームベースを水平にする。
- ② アンカーボルト設置: アンカーボルトの位置を調整し、テンプレート中心に固定し、位置を確認することによる。
- ③ テンプレート設置: テンプレートをアンカーボルトに上部からボルトにて固定し、テンプレート中心線と、柱中心地盤に調整後、フレームベースをホールインアンカーにて固定することによる。
- ④ 定着ナット固定確認: 定着ナットをアンカーボルト下部位置に取り付け、アンカーボルトと定着ナットの隙間に鋼製クサビを打ち込む。



5.3 基礎柱型筋及びコンクリート打設 (元請施工)

● ジャストリングを全数設置し、レンガ等でロックナットを本締めする。トルク値は 3.00N・m 以上とする。(マーキング等による確認推奨)

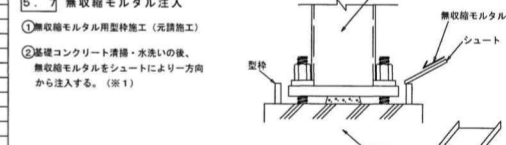
5.4 鉄骨柱の建入れ (元請施工)

● ジャストリング設置及びロックナット本締め (元請施工)

● 鋼製クサビをロックナットとアンカーボルトの隙間に全数セットし、打ち込む。

5.5 無収縮モルタル注入

- ① 無収縮モルタル用型枠施工 (元請施工)
- ② 基礎コンクリート清掃・水洗いの後、無収縮モルタルをシュートを上より一方から注入する。(※1)



※1: 現場施工及び施工管理は、ジャストベース施工技術委員会が認定した有資格者が行う。

適用 (O) 目	ジャストベース製品記号	サイズ	適用角形鋼管 (該当するF値・φD)			※ () はBCPのみ適用		柱脚構成部材		R/C基礎型 (下記の寸法・配筋とする)		柱脚回転剛性 K _n /rad	備考				
			F=235N/mm ²	F=295N/mm ²	F=355N/mm ²	アンカーボルト	ベースプレート	座金	寸法 (mm)	主筋	帯筋						
ジャストベース (JE II型)	J150-12N	150×150	6・9・12	6・9・12	6・9	4-029×660	SD490	165	28×300×300	19×74	500×500	620×620	550	12-016	D13 #150	21以上 30以下	12,000
	J175-12N	175×175	6・9・12	6・9・12	6・9	4-029×660	SD490	165	32×325×325	19×74	530×530	650×650	550	12-016	D13 #150	21以上 30以下	17,000
	J200-09N	200×200	6・8・9	6・8・9	6・8	4-029×660	SD490	165	32×350×350	19×74	550×550	670×670	600	12-016	D13 #150	21以上 30以下	21,000
	J200-12N	200×200	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	4-029×720	SD390	180	32×380×380	22×88	560×560	680×680	600	12-019	D13 #150	21以上 30以下	30,000
	J250-09N	250×250	6・8・9	6・8・9	6・8	4-035×720	SD390	180	36×430×430	22×88	620×620	740×740	600	12-019	D13 #150	21以上 30以下	47,000
	J250-12N	250×250	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8・9	4-035×725	SD490	185	40×430×430	22×88	620×620	740×740	600	12-019	D13 #150	21以上 30以下	47,000
	J250-16N	250×250	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16	6・8・9・12	4-035×720	SD390	180	40×480×480	22×88	650×650	850×850	600	16-022	D13 #150	21以上 30以下	61,000
	J300-09N	300×300	6・8・9・12	6・8・9・12	6・8	4-035×725	SD490	185	40×480×480	22×88	680×680	800×800	600	12-019	D13 #150	21以上 30以下	66,000
	J300-12N	300×300	6・8・9・12・16	6・8・9・12	6・8・9・12	4-029×660	SD490	165	36×510×510	19×74	700×700	900×900	600	12-022	D13 #150	21以上 30以下	65,000
	J300-16N	300×300	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16	6・8・9・12・16	4-035×720	SD390	180	40×540×540	22×88	740×740	940×940	600	12-022	D13 #150	21以上 30以下	89,000
	J350-12N	350×350	6・8・9・12・16・19	6・8・9・12・14・16・19	6・8・9・12・16・19	4-035×725	SD490	185	45×540×540	22×88	740×740	940×940	600	16-025	D13 #150	21以上 30以下	90,000
	柱脚工法 (角形鋼管)	J350-16N	350×350	9・12・16・19・22・25	9・12・16・19・22・25	9・12	4-035×720	SD390	180	40×580×580	22×88	780×780	980×980	700	12-022	D13 #150	21以上 30以下
J350-19N		350×350	9・12・16・19・22	9・12・14・16	9・12	4-035×725	SD490	190	50×600×600	22×88	800×800	1,000×1,000	750	16-022	D13 #150	21以上 30以下	129,000
J350-22N		350×350	9・12・16・19・22	9・12・14・16・19	9・12・16・19	4-038×785	SD490	200	50×640×640	25×94	830×830	1,030×1,030	750	16-025	D13 #150	21以上 30以下	148,000
J400-12N		400×400	9・12・16・19・22	9・12・14・16・19・22	9・12・16・19・22	4-041×880	SD490	210	55×640×640	25×100	830×830	1,030×1,030	750	24-025	D16 #100	24以上 30以下	156,000
J400-16N		400×40															

ISベース柱脚工法設計・施工標準図 (SP:角型鋼管用 保有耐力接合タイプ) 1/2

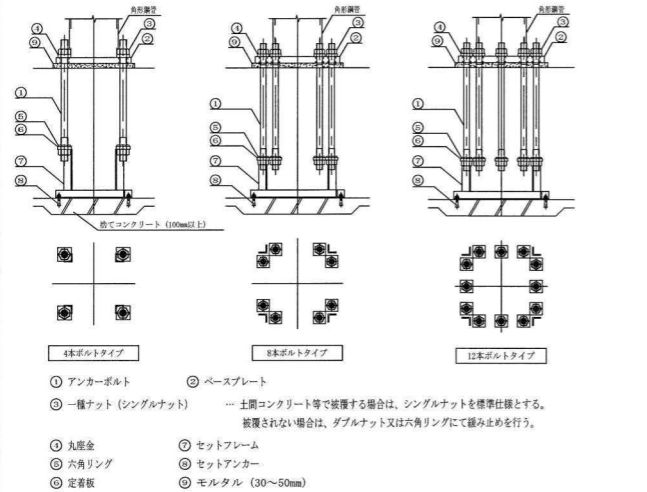
一般財団法人 日本建築センター 鋼構造選定委員会評定 BCJ評定-STO282-02 (2022年12月16日)

国土交通大臣認定番号 (アンカー用ボルトセット) 第1号 (はしメーターと加工工程を参照)			
MBLT-0116	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0180	M24~M48 (朝日工業・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0144	M30~M48 (JFE赤鋼・アイエスケ-中島工場)	MBLT-0181	M30~M48 (JFE赤鋼・アイエスケ-前橋工場)
MBLT-0164	M52~M76 (JFE赤鋼・アイエスケ-前橋工場)		

適用柱材	
F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²	
2023年11月作成	

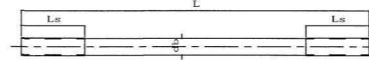
アイエスケ株式会社
(大阪本社) TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
(東京支店) TEL 03-3433-0844
FAX 03-3433-0847

1. 構造概要



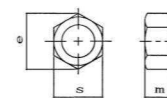
3. アンカー用ボルトセット

3-1. アンカーボルト
材料: 大臣認定材料 (ISB740C, ISB740E, ISB800B)



品番	呼び径	ピッチ	db			L	Ls
			ISB740C	ISB740E	ISB800B		
A1	M24	3.0	22.0	-	-	595	100
A21	M30	3.5	28.0	-	-	605	115
A31	M36	4.0	33.15	33.0	-	675	130
A34						825	
A41						745	
A42						845	
A43	M42	4.5	38.92	38.8	-	945	145
A44						1045	
A52						1015	
A53	M48	5.0	45.0	-	-	1115	160
A62						1200	
A71	M56	5.5	-	-	52.0	1165	195
A72	M60	5.5	-	-	56.0	1230	205
A91	M64	6.0	-	-	60.0	1295	215
A92	M68	6.0	-	-	-	1360	225
AA1						1460	
AB1	M72	6.0	-	-	67.8	1425	235
AC1	M76	6.0	-	-	71.8	1490	245

3-2. ナット
種類: 1種六角ナット JIS B 1181
強度区分: JIS B 1052 8 (M48以下)
強度区分: JIS B 1052 10 (M52以上)

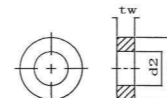


呼び径	m			e
	m	s	e	
M24	19	36	41.6	11.6
M30	24	46	53.1	
M36	29	55	63.5	14.5
M42	34	65	75.0	
M48	38	75	86.5	17.5
M52	42	80	92.4	
M56	45	85	98.1	20.5
M60	49	90	104.0	
M64	51	95	110.0	23.5
M68	54	100	116.0	
M72	58	105	121.0	26.5
M76	61	110	127.0	

3-4. 定着板
材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400 (M48以下)
溶接構造用圧延鋼材 SM490A (M52以上)

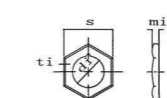
呼び径	高さ	Ba		tu	td
		Ba	tu		
M24	P1	50	9	26	12
M30	P2	65	12	32	
M36	P3	75	16	38	16
M42	P4	85	19	44	
M48	P5	95	22	50	20
M52	P6	115	25	54	
M56	P7	120	25	58	24
M60	P8	130	28	62	
M64	P9	135	32	66	28
M68	PA	140	32	70	
M72	PB	150	36	74	32
M76	PC	155	36	78	

3-3. 丸座金
材質: 一般構造用圧延鋼材 SS400



呼び径	品番	d1			d2	tw
		d1	d2	tw		
M24	C1	52	25	9	1.2	
M30	C2	58	31	12		
M36	C3	68	37	16	1.5	
M42	C4	78	43	19		
M48	C5	90	50	19	1.8	
M52	C6	100	54	25		
M56	C7	108	58	28	2.1	
M60	C8	114	62	32		
M64	C9	120	66	36	2.4	
M68	CA	128	70	36		
M72	CB	134	74	36	2.7	
M76	CC	140	78	36		

3-5. 六角リング
材質: JIS G3131 SPHC

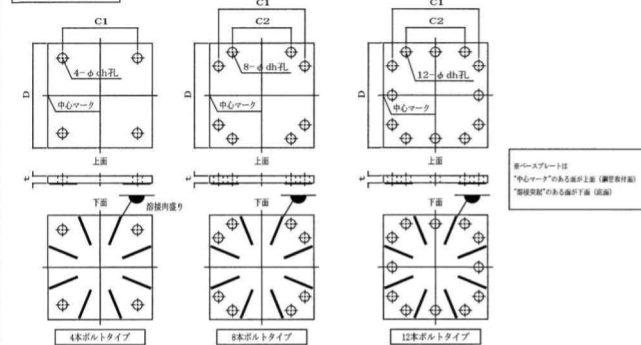


呼び径	S	mi		
		di	mi	t1
M24	36	22.5	5	1.6
M30	46	28.9	7	2.0
M36	55	33.6	8	2.0
M42	65	39.2	9	2.3
M48	75	45.7	10	2.3
M52	80	49.9	11	2.8
M56	85	52.6	12	2.8
M60	90	56.6	12	3.2
M64	95	60.3	13	3.2
M68	100	64.3	14	3.2
M72	105	68.2	14	3.6
M76	110	72.2	15	3.6

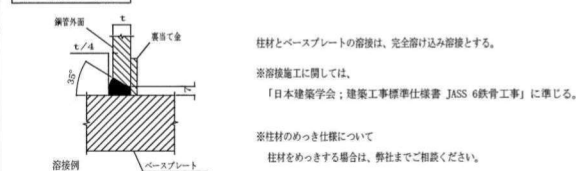
2. ベースプレート

2-1. 材質 JIS G 3136 SN490B (t=40mm以下の場合のみ使用)
建築構造用認定鋼板 TMP325B (板厚の制限なしで使用)

2-2. 形状と寸法



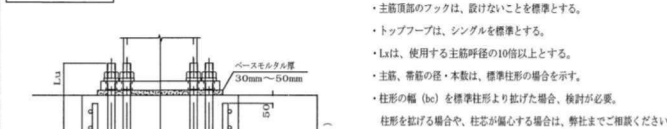
2-3. 柱材との溶接



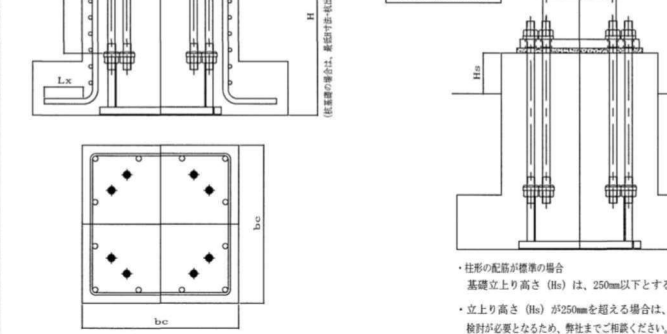
4. コンクリート柱形

4-1. 使用材料 コンクリート: $F_c=24\text{N/mm}^2$ 以上 (鋼管サイズ $\square 550$ 以下)
 $F_c=24\text{N/mm}^2$ 以上 (鋼管サイズ $\square 600$ 以上)
鉄筋: JIS G 3112 SD295A (D16以下)
JIS G 3112 SD345 (D19~D25)
JIS G 3112 SD390 (D29以上)

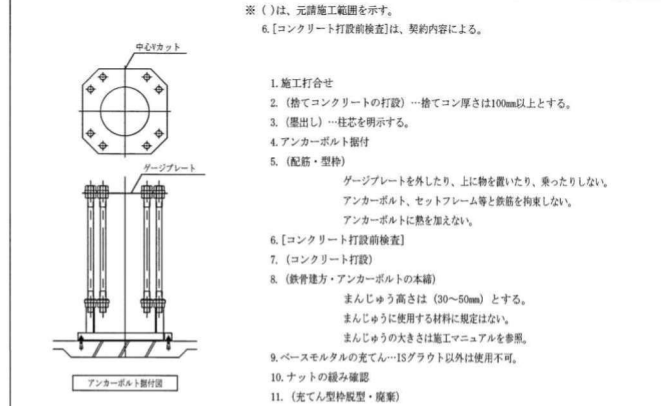
4-2. 形状・配筋



4-3. 基礎立上り部



5. 施工



6. 施工管理

- ISベースの施工 (アンカーボルトの据付及びベースモルタルの充填) は、弊社が認定した施工者が行う。
- 施工は、施工マニュアルに準じて行い、施工後「チェックシート」により許容範囲内であることを確認する。
- 材料は弊社にて支給する。支給品以外材料を使用した場合、ISベースの性能を保証できない場合がある。
- アンカー用ボルトセットは大臣認定材料である。形状・寸法・材質の変更、切り欠き・溶接などの加工は認められない。

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事

図名 既成柱脚仕様書 (3-1)

SCALE 1/ DATE 2023.09



コウセイアーキテクトデザイン有限公司
凸凹設計事務所

〒780-8050 高知市鴨岡979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝志

高知市都市建設部 公共建築課

係長 課長補佐 課長

小野 笹岡 松本 岡村

SHEET NO.

8-15

ISベース柱脚工法設計・施工標準図

(SP:角型鋼管用 保力耐力接合タイプ) 2/2

一般財団法人 日本建築センター 鋼構造評定委員会評定 BCJ評定-ST0282-02 (2022年12月16日)

国土交通大臣部定番号 (アンカー用ボルトセット)				※()はミリメートルを単位とする。			
MBLT-0116	M24-M48 (朝日工業・アイエスケー中島工場)	MBLT-0180	M24-M48 (朝日工業・アイエスケー前橋工場)				
MBLT-0144	M30-M48 (JFE条鋼・アイエスケー中島工場)	MBLT-0181	M30-M48 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場)				
MBLT-0164	M52-M76 (JFE条鋼・アイエスケー前橋工場)						

適用柱材	
F値=235N/mm ² , 275N/mm ² , 295N/mm ² , 325N/mm ²	

2023年11月作成

アイエスケー株式会社

(大阪本社) TEL 06-6449-0881
FAX 06-6449-0877
(東京支店) TEL 03-3433-0844
FAX 03-3433-0847

採用	柱脚記号	鋼管サイズ (mm)	適用柱サイズ (mm)					ベースプレート					アンカーボルト			コンクリート柱形 (標準)					最低寸法 (mm)	
			柱材の基準強度 (N/mm ²)					D (mm)	C1 (mm)	C2 (mm)	dh (mm)	t (mm)	本数-呼び径 (品番)		Lu (mm)	La (mm)	bc (最小~最大) (mm)	主筋	番筋	Lx (mm)		コンクリート強度 (N/mm ²)
			235	275・295	325																	
	SP151	□150	t ≦ 9	t ≦ 6	-	290	210	-	φ36	25	4-M24 (A1)	125	410	500~540	12-D16	D13@150	160	21以上	550以上			
	SP152		t ≦ 12	t ≦ 12	-	310	210	-	φ42	32	4-M30 (A21)	135	400	500~630	16-D16	D13@150	160	21以上	550以上			
	SP171	□175	t ≦ 9	t ≦ 6	-	320	230	-	φ42	25	4-M30 (A21)	135	400	500~540	12-D16	D13@150	160	21以上	550以上			
	SP172		t ≦ 12	t ≦ 12	-	350	250	-	φ50	36	4-M36 (A31)	155	440	540~630	16-D16	D13@150	160	21以上	600以上			
	SP201	□200	t ≦ 9	t ≦ 9	-	350	260	-	φ50	32	4-M36 (A31)	155	440	560~650	12-D19	D13@100	190	21以上	600以上			
	SP202		t ≦ 12	t ≦ 12	-	380	280	-	φ50	40	4-M36 (A31)	155	440	570~750	16-D19	D13@100	190	21以上	600以上			
	SP203	□250	t ≦ 16	t ≦ 16	-	380	270	-	φ58	45	4-M42 (A41)	175	480	580~840	20-D19	D13@100	190	21以上	650以上			
	SP251		t ≦ 6	t ≦ 6	-	400	310	-	φ50	28	4-M36 (A31)	155	440	620~650	12-D19	D13@100	190	21以上	600以上			
	SP252	□250	t ≦ 9	t ≦ 9	-	450	340	-	φ50	36	4-M36 (A31)	155	440	650~680	16-D19	D13@100	190	21以上	600以上			
	SP253		t ≦ 12	t ≦ 12	-	450	330	-	φ58	40	4-M42 (A41)	175	480	640~840	20-D19	D13@100	190	21以上	650以上			
	SP254	□300	t ≦ 16	t ≦ 16	-	480	380	230	φ50	45	8-M36 (A34)	155	590	680~980	20-D22	D13@100	220	21以上	750以上			
	SP301		t ≦ 9	t ≦ 9	-	480	370	-	φ58	36	4-M42 (A42)	175	580	680~840	16-D22	D13@100	220	21以上	750以上			
	SP302	□300	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	500	400	250	φ50	40	8-M36 (A34)	155	590	730~840	20-D22	D13@100	220	21以上	750以上			
	SP303		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	530	420	250	φ58	45	8-M42 (A43)	175	680	740~840	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上			
	SP304	□350	t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	570	440	270	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	770~1120	20-D25	D13@100	250	21以上	850以上			
	SP305		t ≦ 19	t ≦ 22	t ≦ 19	600	470	300	φ58	55	8-M42 (A43)	175	680	800~1120	20-D25	D13@100	250	21以上	850以上			
	SP351	□350	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	560	460	290	φ58	40	8-M42 (A43)	175	680	780~1070	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上			
	SP352		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	620	500	330	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	850~1070	24-D22	D13@100	220	21以上	850以上			
	SP353	□350	t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	630	470	280	φ66	50	8-M48 (A52)	195	720	830~1230	24-D25	D13@100	250	21以上	900以上			
	SP354		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	670	530	340	φ66	60	8-M48 (A52)	195	720	880~1260	28-D25	D13@100	250	21以上	900以上			
	SP355	□400	t ≦ 22	t ≦ 25	t ≦ 22	710	550	360	φ66	65	8-M48 (A52)	195	720	930~1260	28-D25	D13@100	250	21以上	900以上			
	SP401		t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	650	540	370	φ58	45	8-M42 (A43)	175	680	860~1230	24-D25	D13@100	250	21以上	850以上			
	SP402	□400	t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	670	540	350	φ66	50	8-M48 (A53)	195	820	880~1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP403		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	730	590	400	φ66	60	8-M48 (A53)	195	820	960~1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP404	□450	t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	780	630	440	φ66	70	8-M48 (A53)	195	820	1020~1230	24-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP405		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	740	590	400	φ66	70	12-M48 (A53)	195	820	980~1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP406	□450	t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	770	600	360	φ74	70	8-M56 (A71)	245	800	1020~1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP451		t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	730	620	450	φ58	50	8-M42 (A43)	175	680	950~1150	24-D25	D13@100	250	21以上	850以上			
	SP452	□450	t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	760	630	440	φ66	55	8-M48 (A53)	195	820	990~1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP453		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	850	680	490	φ66	70	8-M48 (A53)	195	820	1100~1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP454	□450	t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	810	660	470	φ66	70	12-M48 (A53)	195	820	1100~1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP455		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	880	680	490	φ66	75	12-M48 (A53)	200	820	1140~1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP456	□500	t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	850	690	450	φ74	70	8-M56 (A71)	245	800	1150~1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP457		t ≦ 28	t ≦ 28	t ≦ 25	860	680	420	φ80	75	8-M60 (A81)	255	850	1130~1260	40-D25	D13@100	250	21以上	1050以上			
	SP501	□500	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	750	630	440	φ66	50	8-M48 (A53)	195	820	970~1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP502		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	790	660	470	φ66	60	12-M48 (A53)	195	820	1050~1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP503	□550	t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	810	670	440	φ70	55	8-M52 (A61)	235	750	1050~1260	32-D25	D13@100	250	21以上	950以上			
	SP504		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	870	690	500	φ66	65	12-M48 (A53)	195	820	1130~1260	32-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP505	□550	t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	890	730	500	φ70	70	8-M52 (A61)	235	750	1150~1260	36-D25	D13@100	250	21以上	950以上			
	SP506		t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	880	710	450	φ80	70	8-M60 (A81)	255	850	1140~1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上			
	SP507	□550	t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	920	740	480	φ80	75	8-M60 (A81)	255	850	1200~1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上			
	SP508		t ≦ 28	t ≦ 28	t ≦ 25	920	720	440	φ88	80	8-M68 (AA1)	275	950	1220~1690	36-D29	D16@100	290	21以上	1200以上			
	SP551	□550	t ≦ 12	t ≦ 12	t ≦ 9	850	720	530	φ66	55	8-M48 (A53)	195	820	1100~1260	28-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP552		t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	890	740	550	φ66	65	12-M48 (A53)	195	820	1150~1260	36-D25	D13@100	250	21以上	1000以上			
	SP553	□550	t ≦ 16	t ≦ 16	t ≦ 12	910	770	540	φ70	65	8-M52 (A61)	235	750	1180~1260	36-D25	D13@100	250	21以上	950以上			
	SP554		t ≦ 19	t ≦ 19	t ≦ 16	900	740	480	φ80	65	8-M60 (A81)	255	850	1170~1600	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上			
	SP555	□550	t ≦ 22	t ≦ 22	t ≦ 19	970	800	540	φ80	75	8-M60 (A81)	255	850	1260~1500	32-D29	D16@100	290	21以上	1050以上			
	SP556		t ≦ 25	t ≦ 25	t ≦ 22	990	790	520	φ84	80	8-M64 (A91)	265	900	1280~1690	36-D29	D16@100	290	21以上	1100以上			
	SP557	□550	t ≦ 28	t ≦ 28	t ≦ 25	980	770	470	φ92	80	8-M72 (AB1)	285	1000	1300~1790	40-D29	D16@100	290	21以上	1250以上			

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事

図名 既成柱脚仕様書 (3-2)

SCALE 1/ DATE 2023.09



コウセイアーキテクトデザイン有限公司
凸凹設計事務所

〒780-8050 高知市幡町979-7 (TEL)088-821-9077 (FAX)088-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生

高知市建設部 公共建築課

係長 小野 隆夫

係長補佐 小野 隆夫

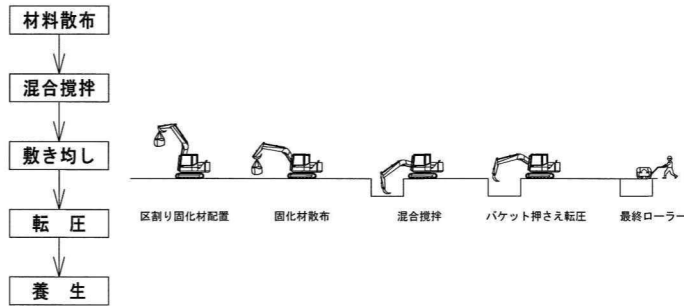
SHEET NO.

S-16

表層改良工法特記仕様書

1 工法概要

本工法は現地地盤とセメント系固化材とをバックホウで混合攪拌し、所要の強度を有する改良体を造成する工法である。



2 一般事項

本工事は、特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(財)日本建築センター、(財)ベターリビング)による改良厚さ、土量、位置および固化材の配合等は、土質や地盤状況により変更することができる。
本工事に先立ち、施工計画書を提出し監督職員の承諾を得るものとする。
施工計画書には次の事項を明記する。

- (1) 工事内容 (改良厚さ、土量、位置、設計基準強度等)
- (2) 工程表
- (3) 施工方法 (使用固化材、配合量等)
- (4) 施工機械
- (5) 施工管理方法
- (6) 品質管理方法
- (7) 安全管理方法
- (8) 請負業者の本工事責任者名
- (9) 本工事施工業者名および施工責任者名

3 特記事項

- (1) 改良厚さ、位置等は設計図による。
- (2) 地耐力は昭和51年9月調査の土質柱状図の耐力があるものとする。
- (3) 必ず事前に配合試験を行い配合量の妥当性を確認する。

4 固化材配合量

- (1) 推定配合
 - 1) 固化材量：セメント系固化材・50kg/m³添加

5 施工機械

- (1) 施工機械本体は、改良厚さに見合った掘削、混合能力を有すること。

6 施工

- (1) 施工

改良対象地盤にマーキングしてきあがった升目に改良材を散布する。
混合した改良土は、状況を見てできるだけ早期に転圧を行う。
改良土は、転圧完了後所定の強度を得るまで養生する。
施工に対して疑義が生じた場合は、直ちに監督員と協議し、その指示を受ける。
施工精度を満足しない場合は、監督員と協議しその指示を受け適切な処置をする。

7 施工管理

- 施工過程における管理方法は次の通りとする。
- (1) 固化材散布量
マーキングに基づき1tフレコンを所定面積内に均一に散布する。
 - (2) 改良厚さ
混合中に機械を止めて、改良厚さをスタッフ等により測定する。
 - (3) 混合程度
固化材と改良対象土の色むらがなくなるまで混合する。

8 報告

- 工事完了後、次の事項について報告書をまとめて1部を監督職員に提出する。
- (1) 施工日報 (改良厚さ、位置、土量、配合量、固化材使用量等)
 - (2) 固化材散布量、改良厚さの状況写真
 - (3) 管理試験結果

9 管理試験

- (1) 一軸圧縮試験
 - 1) 現場採取供試体
500m³につき1ヶ所改良土を採取し、寸法φ5cm x 10cmの供試体を3個/箇所作成し、一軸圧縮試験を行う。
 - 2) 材令28日で各箇所の圧縮強度の平均値が設計基準強度の平均値を上回ること。
- (2) 六価クロム溶出試験
国土交通省 国官技第16号、国営建第1号 (平成13年4月20日)「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験要領(案)」による六価クロム溶出試験を実施し試験結果を提出するものとする。

事前配合試験段階 1検体

工事名 朝倉保育園屋外階段新築工事		kouei architect design, inc. コウセイアーキテクトデザイン有限公司		高知市建設部 公共建築課				SHEET NO.
図名 表層改良工法特記仕様書		凸凹設計事務所		係	係長	課長補佐	課長	S-17
SCALE	DATE 2023.09	〒790-8050 高知市輪船979-7 (TEL)098-821-9077 (FAX)098-854-4440 一級建築士 第345939号 吉田孝生		小野	笹岡	松本	山本	

